Panasonic®

SD マルチカメラ

取扱説明書

品番 SV-AV100

D-snap

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、SD マルチカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」（88 ～ 96 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

VQT0E84-3

もくじ

はじめに

準備

使ってみよう

より楽しく

もくじ（つづき）

パソコンで

その他

簡単ガイドと主な機能

詳しくは、本文をお読みください。

● ソフトウェア使用許諾書

● 付属品

より楽しく

パソコンで

● 故障と思ったら

● 安全上のご注意

はじめに

- 大切な撮影前には、必ず事前に試し撮りを行い、正常に記録されていることを確かめてください。
- 本機およびカードなどの不具合で記録されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
- あなたが撮影（録画など）、録音したものは、個人として楽しむ以外には、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、お気を付けください。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権により保護されています。
  この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 他機で記録、作成した内容の本機での再生、本機で記録した内容の他機での再生はできない場合がありますので、あらかじめお確かめください。
- Microsoft®、Windows®、DirectX®、Windows Media™ は、
  米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe®、Adobe Acrobat® および Acrobat Reader™ は、
  Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国および各国での商標または登録商標です。
- Intel®、Pentium®、Celeron® は Intel Corporation の各国での登録商標もしくは商標です。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 本書内の製品姿図・イラストは実物と多少異なりますが、ご了承ください。
- 本機で使用できるのは、SD メモリーカードです。（マルチメディアカードのご使用については保証いたしません）
- SD（SD ロゴ）は商標です。
- 本書では参照いただくページを（P00）、➜P00 で示しています。
- 本書ではバッテリーパックのことをバッテリーと記載しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

ソフトウェア使用許諾書

付属 CD-ROM 内のソフトウェアについては、「ソフトウェア使用許諾書」の内容を承諾していただくことが使用の条件になっています。

第１条　権利

お客様は松下電器産業株式会社より以下の条件に基づき本ソフトウェア(CD-ROMおよびマニュアルなどに記載された情報をいいます)を日本国内で使用する権利の承諾を受けますが、著作権がお客様に移転するものではありません。
著作権は松下電器産業株式会社および松下電器産業株式会社へのライセンス許諾者が所有します。

第２条　第三者の使用

お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびそのコピーしたものを第三者に使用許諾あるいは貸与させることはできません。

第３条　コピーの制限

本ソフトウェアのコピーは、保管(バックアップ)の目的のためだけに限定されます。

第４条　使用コンピューター

本ソフトウェアは、コンピューター１台に対しての使用とし、複数台のコンピューターで使用することはできません。

第５条　解析、変更または改造

本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証をいたしません。また解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害が生じたとしても弊社および販売店等は責任を負いません。

第６条　アフターサービス

弊社の指定する窓口まで電話または FAX にてお問い合わせください。
お問い合わせの本ソフトウェアに関して、弊社が知り得た内容の誤り(バグ)や使用方法の改良などの情報をお知らせいたします。
なお、本ソフトウェア仕様は予告なく変更することがあります。

第７条　免責

本ソフトウェアに関する弊社の責任は、上記第６条のみとさせて頂きます。
本ソフトウェアのご使用にあたり生じた、お客様の損害および第三者からお客様になされた損害賠償等の請求による損害について、弊社および販売店等は一切責任を負いません。

第８条　輸出管理

お客様は、本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、日本国および米国の輸出管理に関連する法規を遵守してください。

第９条　その他

上記第６条のアフターサービスには、ご愛用者登録が必要です。

付属品

下記の部品が入っているか、ご確認ください。(品番は2003年8月現在のものです)

1 **AV クレードル**
VSK0641(シルバー)
VSK0661(ブラック)

2 **バッテリーパック**

3 **電源コード**
K2CA2DA00009

4 **AC アダプター**
VSK0615

5 **映像 / 音声コード**
K2KC4CB00009

6 **SD メモリーカード**
(512 MB)
カードケース /
本体スタンド
VFC4032

7 **レンズキャップ**
VGQ7448(シルバー)
VGQ7759(ブラック)
レンズキャップ用ひも
VFC4035(シルバー)
VFC3917(ブラック)

8 **ハンドストラップ**
VFC4012(シルバー)
VFC4038(ブラック)

9 **ソフトケース**
VFC4020

10 **ワイヤレスリモコン**
N2QACC000005
コイン電池
CR2025

11 **CD-ROM**
(USB ドライバー/
MediaStage for
AV100)

12 **USB 接続ケーブル**
VFA0397

■別売品について

バッテリーパック
VW-VBA21
(1050 mAh)

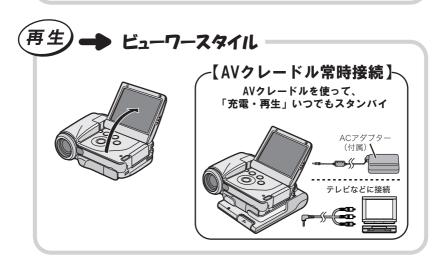
バッテリーチャージャー
VW-BCA1

SD メモリーカード
・256 MB
RP-SDH256
・512 MB
RP-SDH512

用途に応じて使い分け！

記録時には「**たて型**」、再生時には「**横型**」の
“２Ｗａｙ”スタイル

記録 → **シューティングスタイル**

再生 → **ビューワースタイル**

■ ホームページアドレスへのアクセスをお待ちしております

ホームページでは､カメラの撮りかたやコツ､新製品の情報などを紹介しています。参考にご覧ください。

http://panasonic.jp

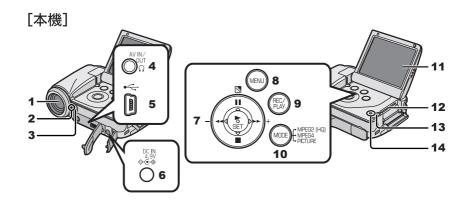
また製品のサポートについては

http://panasonic.jp/support

をご覧ください。

各部の名前と働き

本機のボタン・端子などです。詳しくは、関係するページをお読みください。

［本機］

1 レンズ

2 撮影お知らせランプ(P24)

3 リモコンセンサー(P71)

4 映像 / 音声入出力端子 [AV IN/OUT](P40)
テレビなど外部機器との接続時に使います。
ヘッドホン端子[ ]
ヘッドホンで音声を聞くときに使います。ヘッドホンを付けると、スピーカーからは音声が出なくなります。

5 USB 端子(P42、68)
パソコンのUSB端子とつなぎます。

6 DC 入力端子[DC IN 4.9V](P16)
ACアダプター(付属)をつなぎます。

7 多機能ボタン(P20)
以下のような操作を行います。
- メニューの選択・設定(P20)
- 再生モード時の操作(P28、29、32)
- 再生ファイルの選択(P28、29、32)
- 逆光補正(P35)など、画像記録時の補助機能

8 メニューボタン[MENU](P20)
メニュー画面を表示します。

9 記録 / 再生モード切換えボタン [REC/PLAY]
(P19、28、29、32、44)
記録 / 再生モードを切り換えます。

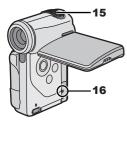
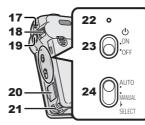
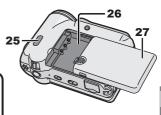
10 モード切換えボタン[MODE]
(P19)
押すごとに、MPEG2(動画)→MPEG4(動画)→PICTURE(静止画)モードが切り換わります。
MPEG2(HQ)の HQ とは High Quality の略で、「高品位」の意味です。MPEG2 を選択すると、よりなめらかで高画質な動画を記録できます。

11 液晶モニター(P18、21)

12 カード挿入口(P17)

13 カード扉開くレバー(P17)

14 カード動作中ランプ[ACCESS]
(P17)
カードへアクセス中に点灯します。

準備

15 **内蔵ステレオマイク**

16 **RESET ボタン**(P86)

本機の動作が異常な場合(P86)やメニュー設定やマニュアル設定など、すべての設定項目を工場出荷時の状態に戻したいときに、先の細いもので押してください。(ただし、日付設定だけは記憶しています)

- データ保護のために、カードを取り出してから、RESET ボタンを押してください。
- バッテリーも AC アダプターも付いていない状態で押すと、日付設定もリセットされます。(P23)

17 **スピーカー**

18 **ズームレバー[T/W]**(P34)
ボリュームレバー[＋ VOL－]
(P30)

19 **記録 / 停止ボタン**(P26、31、41)

動画・静止画の記録 / 記録停止を行います。

20 **AV クレードル用コネクター**
[MULTI](P14)

AV クレードル(付属)に付けるときに使います。

21 **ハンドストラップ取付部**(P72)

ハンドストラップ(付属)やレンズキャップ用ひも(付属)を取り付けます。

22 **電源ランプ**(P15、19)

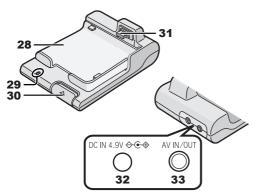
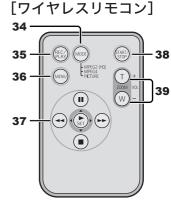
23 **電源スイッチ[ON/OFF]**(P19)

24 **オート / マニュアル切換えスイッチ**
[AUTO/MANUAL/SELECT]
(P24、35、37)

オート / マニュアルモードの切り換え、マニュアルモードの選択に使います。

25 **白バランスセンサー**(P36)

26 **バッテリー取付部**(P13)

27 **バッテリーカバー**(P13)

[AVクレードル]

[ワイヤレスリモコン]

[AV クレードル]

28 トレイ

29 電源ランプ[⏻](P15)

30 リリースボタン[△](P14)
本機を外すときに使用します。

31 本体接続用コネクター(P14)
本機の[MULTI]**20** に接続します。

32 DC 入力端子[DC IN 4.9V](P16)

33 AV 入出力端子[AV IN/OUT]
(P40)

[ワイヤレスリモコン]
本体のボタンと同じ働きをします。

34 モード切換えボタン[MODE]
(P19)

35 記録 / 再生モード切換えボタン
[REC/PLAY]

36 メニューボタン[MENU](P20)

37 多機能ボタン
- ただし、ワイヤレスリモコンでは、逆光補正(P35)は設定できません。

38 記録 / 停止ボタン[START/STOP]
(P26、31、41)

39 ズームボタン[T/W](P34)
ボリュームボタン[+ VOL−]
(P30)

バッテリーを入れる / 外す

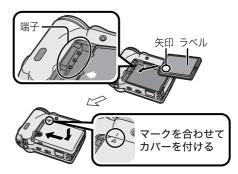
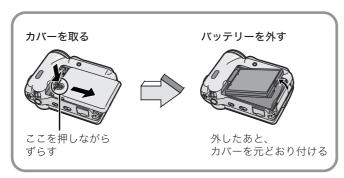
より詳しく(P81)

バッテリーを使うと、屋外や電源コンセントのない場所でも、記録･再生ができます。

❶ カバーを外す

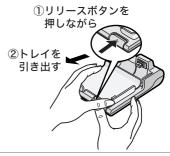
❷ バッテリーの矢印を図の向きに合わせて入れる

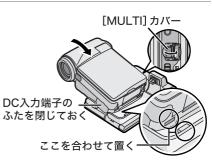
- 入れたあとは、カバーを元どおり付けます。

準備

■ 外しかた

- AC アダプター使用時も、バッテリーを入れておくことをおすすめします。
- 長期間使用しないときは、バッテリーを外しておいてください。

AV クレードルに付ける

AVクレードルに付けると、充電や映像の再生、テレビや外部機器との接続時に便利です。

❶ リリースボタンを押しながら、トレイを引き出す

❷ [MULTI]カバーを開けて、本機をトレイにのせる

- AV クレードルのトレイに本機下部を合わせて置きます。
- DC入力端子のカバーが開いていると、AV クレードルに付けられません。
- ハンドストラップやレンズキャップ用ひもを付けている場合は、トレイや[MULTI]カバーにはさみ込まないようお気を付けください。

❸ トレイを押して、固定させる

- 「グッ」と奥まで差し込みます。

❹ 必要に応じてコードをつなぐ

- AC アダプターを付ける(充電 / 電源)➜ P15、16
- テレビなどの外部機器で映像を見る ➜ P40
- 外部機器から映像を記録する ➜ P41
- パソコンと接続する ➜ P42、68

- AV クレードルに付けるときは、本機の電源は[OFF]にしてください。
- 本機に映像/音声コードやACアダプターが接続されていると、AV クレードルに付けられません。

■ 外しかた

リリースボタンを押しながら、トレイを引き出す

●取り外したあとは、[MULTI]カバーを閉じておいてください。

バッテリーの充電

より詳しく(P81)

お買い上げ時には、バッテリーは充電されておりませんので、まずバッテリーを充電してください。

充電時は、本機の電源を[OFF]にしておいてください。

1 バッテリーを入れる（P13）

2 AV クレードルに付ける(P14)

3 電源コンセントにつなぐ(P16)

●AV クレードルの電源ランプが約 2 秒間隔で点滅し、充電が始まります。
消灯したら、充電完了です。

●付属のバッテリー1 本あたりの充電時間は約 2 時間 25 分です。
（温度 25 ℃ / 湿度 60% での時間です）

●充電後や使用後はバッテリーが温かくなることがありますが、異常ではありません。

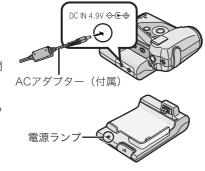
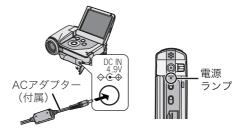
●充電時間・記録時間のめやす ➜ P81

●バッテリーについてのお願い ➜ P97

●点滅速度が速い / 遅いときは ➜ P99

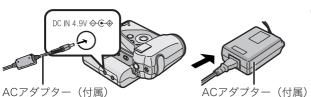
■ AV クレードルなしで充電する

バッテリーを入れたあと、本機のDC入力端子にACアダプターを接続し、電源コンセントにつなぐ(P16)

●電源ランプが約 2 秒間隔で点滅し、充電が始まります。
消灯したら、充電完了です。

●バッテリーチャージャー(VW-BCA1)(別売)を使って充電することもできます。
詳しくは、バッテリーチャージャーの取扱説明書をご覧ください。

電源コンセントにつないで使う

接続後、電源を入れると使えるようになります。

❸ 電源プラグを電源コンセントに差し込む

❶ ACアダプターのDCプラグをAVクレードルに差し込む

❷ 電源コードをACアダプターに差し込む

カードを入れる

より詳しく(P81)

カードの出し入れ時は、必ず電源を[OFF]にしてください。

1 液晶モニターを開く

2 カード扉を開く

3 カードをグッと最後までまっすぐ押し込む

4 カード扉を閉じる

■ カードを取り出すとき

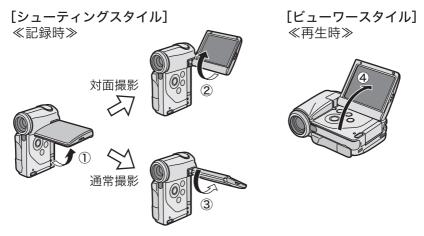
1 カード扉開くレバーをスライドして、カード扉を開く

2 カード中央部を押し込む(①)と、指でつまめるくらいにカードが出てきますので、まっすぐ水平に引き抜く(②)

- SD メモリーカードが使えます。マルチメディアカードのご使用については保証いたしません。
- カードによっては、MPEG2 動画記録はできません。(P25)
- カード動作中ランプ(P10)が点灯中はカードを抜いたり、電源を外さないでください。

液晶モニターを使う

液晶モニターを見ながら、映像を記録します。

角度を調整する

① 方向に 90°、② 方向に 130°、③ 方向に 140°、④ 方向に 130° まで回転します。それ以上回すと、故障につながります。

■ 対面撮影について

液晶モニターを②方向に回転させると、液晶モニターを見ながら自分自身を撮ったり、撮影する相手に内容を見せながら撮れるため便利です。

- 対面撮影時(②)、またはビューワースタイル(④)でお使いのときは、記録モード時に液晶モニターに映る画像が左右反転します。

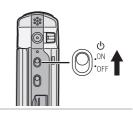
  また、液晶モニターに表示される画面表示は[●❚❚](記録一時停止)、[●](記録中)、[!](警告表示)だけになります。[!]が表示されたときは、液晶モニターを①または③の方向に回転させて、警告表示内容を確認してください。(P77)

- 寒冷地などで本体が冷えきっている状態で電源を入れた場合、液晶モニターが通常より少し暗くなります。
- 液晶モニターの明るさ・色の濃さを調整するには ➜ P21

電源を入れる / 動作モードを選ぶ

電源を入れて、動作モードを選びましょう。
（次に電源を入れたときに、前に選んだ動作モードを記憶しています）

1 電源スイッチを［ON］にする

●電源が入り、電源ランプが点灯します。
●電源を入れると、記録モード（下記参照）になります。

2 記録 / 再生モードを選ぶ

●押すごとに、記録 / 再生モードが切り換わります。

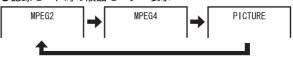
[REC/PLAY]ボタンを押す

準備

3 動作モードを選ぶ

[MODE]ボタンを押す

押すごとに、以下のように動作モードが変わります。

●記録モード時の液晶モニター表示

●再生モード時の液晶モニター表示

■ 本機の動作モード

それぞれの動作モードに応じて、映像を記録 / 再生します。

動画［MPEG2（エムペグツー）］: よりなめらかで、高画質な動画映像を記録できます。大切な映像の記録に最適です。（記録：P25、再生：P28）

動画［MPEG4（エムペグフォー）］: 長時間動画を撮影することができます。パソコンでの利用にも適しています。（記録：P27、再生：P29）

静止画［PICTURE（ピクチャー）］: 静止画（JPEG形式）を記録/再生します。（記録：P31、再生：P32）

●バッテリー使用時に5分以上操作しないと、自動的に電源が切れます。一度電源を［OFF］にして、電源を入れ直してください。

●動作モードごとの画像サイズについて ➜ P82

メニュー画面を操作する

より詳しく(P82)

本機の機能の多くは、メニュー画面で設定します。
設定した動作モードに応じて、使用可能なメニューが操作できます。
(メニューの各項目の詳細について ➜ P73)

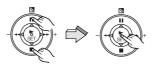
■ 多機能ボタンの使いかた

本機では多機能ボタンが右に 45° 回転した状態で配置されています。このため、記録時(シューティングスタイル)にも無理なくボタンを押すことができるようになっています。
本書では、多機能ボタンの ❚❚(右上)ボタンを上ボタン、■(左下)を下ボタン、▶▶(右下)を右ボタン、◀◀(左上)を左ボタンと説明しています。

❶ [MENU] を押す

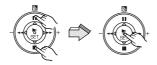
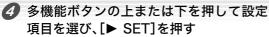
● [カメラ機能設定] が表示されます。

MPEG2 モードの例

❷ 多機能ボタンの上(❚❚)または下(■)を押してメインメニューを選び、[▶ SET] または右(▶▶)を押す

● サブメニューが表示されます。

❸ 多機能ボタンの上または下を押してサブメニューを選び、[▶ SET] または右を押す

● 各設定項目が表示されます。

❹ 多機能ボタンの上または下を押して設定項目を選び、[▶ SET]を押す

❺ [MENU]を押す

●メニュー画面が消えます。

■ 1つ前の項目に戻るには
多機能ボタンの左(◀◀)を押す

●メニュー画面は、約 1 分間何も操作しなければ、自動的に消えます。

準備

液晶モニターを調節する

液晶モニターの明るさや色レベルを調節します。

❶ [表示設定] の [LCD 明るさ] または [LCD 色レベル] を選ぶ

選んで、[▶ SET]を押す

●[−明るさ+]または[−色レベル+]が白抜きで表示されます。

❷ 調節する

●[明るさ]:
バー(▮)が右(+)に移動するほど明るくなります。

●[色レベル]:
バー(▮)が右(+)に移動するほど濃くなります。

左または右でバーを調節

❸ [▶ SET]を押して、決定する

●液晶モニターの調節内容は、実際に記録される画像には影響しません。

年月日・時刻を合わせる

お買い上げ時は日付設定はされておりませんので、下記の手順に従って、年月日・時刻を合わせてください。

1 [日付機能設定] の [日付設定] を選ぶ

2 多機能ボタンの上(❚❚)または下(■)を押して、[年]を変更する

- [年]は、2003 → 2004 → … → 2079 → 2003 と変わります。

3 多機能ボタンの右(▶▶)を押して、[月]を選び、設定する

- 同様の手順で[日]、[時]、[分]を設定してください。
- 時刻は 24 時間表示です。(ただし、[表示モード]を[月 / 日 / 年]にすると、12 時間表示になります)

4 すべて設定したあと、[▶ SET]を押す

5 確認画面が表示されるので、[はい]を選び、[▶ SET]を押して決定する

■ 表示モードを切り換える

[日付機能設定]の[表示モード]で、希望の表示方法を選ぶ

表示モード	画面表示
年 / 月 / 日	15:42 2003. 12. 15
月 / 日 / 年	3:42PM DEC 15 2003
日 / 月 / 年	15:42 15. 12. 2003

■ 年月日・時刻の表示を切り換える

[日付機能設定]の[表示出力]で、希望の表示を選ぶ

[オフ]

■ 内蔵日付用電池を充電する

年月日・時刻は内蔵電池を使って記憶させています。液晶モニターに[ ]表示が出たときは、以下の方法で充電したあと、年月日・時刻を合わせてください。

1 AC アダプターを接続する(P16)

2 本機の電源を[OFF]にしたまま、約 12 時間、そのままにしておく

- 内蔵電池が充電されます。

- 使用頻度にもよりますが、内蔵電池は一度の充電で約 6ヵ月間使えます。
- バッテリーもACアダプターも付けていない状態で[RESET]ボタンを押すと、年月日・時刻は「2003. 1. 1 0:00」になります。

記録前の確認（記録準備）

■ 基本的な構えかた

■ MPEG2/MPEG4 動画について

MPEG とは、Moving（ムービング） Picture（ピクチャー） Experts（エキスパーツ） Group（グループ） の略で、動画像圧縮のフォーマットの名称です。
MPEG2 は、1 秒間に 30 コマの画像データを送信することにより、動画をより美しくなめらかに再生することができます。
MPEG4 は、送信する画像データのコマ数が少ない分、なめらかさには欠けますが、10 kbps ～数 Mbps の転送レートで送信できるため、パソコンでの利用などに適しています。

■ SD メモリーカードのクリーンアップについて（P58）

SD メモリーカードは、一般的にデータの書き込みを繰り返すと、データ書き込み速度が低下する特性があります。
本機は SD メモリーカードのデータ書き込み速度低下を回復させるクリーンアップ機能を搭載しています。（当社製およびその他の接続検証済みカード以外では、クリーンアップ機能は使えません）
本機以外（たとえばパソコンなど）でデータ・ファイルの書き込みを実施した場合、高速でのデータ書き込みが要求される MPEG2 記録では不具合が生じる恐れがありますので（P26）、事前に本機でクリーンアップ機能を実施することをおすすめします。

■ 撮影お知らせランプについて

記録中に点灯、リモコン受信時に点滅します。
[初期設定]の[録画ランプ]を[オフ]にすると、ランプは点灯しません。

■ オートモードについて

オート / マニュアル切換えスイッチを[AUTO]にすると、自動で色合いやピントを合わせて撮ることができます。ただし、光源や撮る場面によっては、色合いやピントが自動では合いません。この場合は、手動で調整します。（色合い：P35、ピント：P37）

動画を撮る(MPEG2 動画記録)　*より詳しく(P82)*

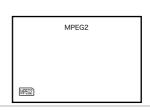
カードにMPEG2形式の動画を記録します。
より高画質な動画を記録できますので、大切な映像の記録にお使いください。
お出かけ前には、クリーンアップを行ってください。(P58)

MPEG2動画記録には、下記の**当社製SDメモリーカード**をご使用ください。
ファイン:256 MB以上、ノーマル:32 MB以上

その他の接続検証済みカードについては、以下のWebサイトをご参照ください。
http://panasonic.jp/support/d_snap/index.html

・上記以外のカードでは記録できませんので、お気を付けください。

MPEG2動画のカード1枚あたりの記録時間のめやす

	当社製SDメモリーカード		他社製カード
カードの容量	F（ファイン）	N（ノーマル）	
8 MB	記録不可	記録不可	使用可能なカードの詳細につきましては、上記のWebサイトをご参照ください。
16 MB	記録不可	記録不可	
32 MB	記録不可	約1分	
64 MB	記録不可	約2分	
128 MB	記録不可	約5分	
256 MB	約5分	約10分	
512 MB	約10分	約20分	

・記録モードにしておいてください。(P19)

❶ [MPEG2] モードに設定する (P19)

❷ [MENU]を押す

❸ 多機能ボタンを使って、[記録機能設定]の[記録画質]を希望の設定にする

●[ファイン]、[ノーマル]から選びます。
●設定後、[MENU]を押します。

使ってみよう

動画を撮る（MPEG2 動画記録）（つづき）

❹ 記録 / 停止ボタンを押す

- 記録が始まります。
- 再度押すと、記録を停止します。

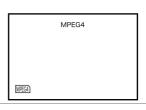
- MPEG2 動画記録中にバッテリーや AC アダプターを外したり、カード動作中ランプ点灯中にカードを抜かないでください。誤って電源を外したり、カードを抜いてしまった場合、次にそのカードを入れたり、電源を入れ直したときに、映像ファイルの修復メッセージが表示されますので、必ず修復を行ってください。(P80)
- データの書き込みを繰り返して、データ書き込み速度の低下したカードを使うと、MPEG2 動画記録中に突然記録が停止することがあります。このとき、カードの空き領域をクリーンアップするメッセージが表示されますので、必ずクリーンアップを行ってください。(P58、79)
- 下記のような撮影条件では、再生画面がモザイク状になることがあります。
  - ・背景に複雑な絵柄がある場合
  - ・本機を大きくまたは速く動かした場合
  - ・動きのはげしい被写体を記録した場合
- 記録したシーンは、1 つの画像ファイルとしてカードに記録されます。
- 記録の停止後に再度記録すると、別ファイルとして保存されます。
- 音声はステレオで記録されます。
- 逆光補正・白バランス ➜ P35
- 記録画質ごとの画像サイズについて ➜ P82

動画を撮る(MPEG4 動画記録)

より詳しく(P82)

カードに MPEG4 形式の映像を記録します。
長時間、動画を記録できます。

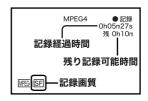
・記録モードにしておいてください。(P19)

1 [MPEG4] モードに設定する (P19)

2 [MENU]を押す

3 多機能ボタンを使って、[記録機能設定]の[記録画質]を希望の設定にする

●[スーパーファイン]、[ファイン]、[ノーマル]、[エコノミー]から選びます。
●設定後、[MENU]を押します。

4 記録 / 停止ボタンを押す

●記録が始まります。
●再度押すと、記録を停止します。

●MPEG4 動画を再生すると、被写体の動きが速い場合などでは、モザイクが出たり、コマ落ちしますが、異常ではありません。
●記録したシーンは、1 つの画像ファイルとしてカードに記録されます。
●記録の停止後に再度記録すると、別ファイルとして保存されます。
●MPEG4 モードに設定すると、カメラの解像度が落ちます。これは MPEG4 記録に最適な画質にするためで、異常ではありません。
●[記録画質]を[エコノミー]にすると画質が劣化します。(音質は変わりません)
●[スーパーファイン]で記録した MPEG4 動画の、本機以外での再生は保証いたしません。
●音声はステレオの L(左)・R(右)がミックスされ、モノラルで記録されます。
●逆光補正・白バランス ➜ P35
●記録画質ごとのカードに記録できる時間のめやす ➜ P81
●記録画質ごとの画像サイズについて ➜ P82

動画を見る(MPEG2 動画再生)

より詳しく(P82)

記録した MPEG2 動画ファイルを再生してみましょう。

❶ [MPEG2] モードに設定する (P19)

❷ 再生モードにする(P19)

❸ 再生ファイルを選ぶ

❹ [▶ SET]を押す

- 選んだファイル以降の番号のファイルを再生したあと、最後の場面で再生一時停止状態になります。
- [■]を押すと再生が停止し、全プログラム表示となります。

操作について

[■]:停止

[❚❚]:一時停止(再生中に押す)

[再生中に ◀◀/▶▶]:頭出し(「ポン」と押す)

[再生中に ◀◀/▶▶]:早戻し / 早送り(約 1 秒以上押す)

- 早戻し / 早送り中は、音声は出ません。

[一時停止中に ◀◀/▶▶]:コマ戻し / コマ送り(「ポン」と押す)

- コマ戻しは約 0.5 秒間隔で、コマ送りは約 0.03 秒間隔で再生されます。

[一時停止中に ◀◀/▶▶]:逆スロー再生 / スロー再生(約 1 秒以上押す)

- 逆スロー再生は約 0.5 秒間隔で、スロー再生は約 0.03 秒間隔で再生されます。
- 早戻し / 早送り中は、音声は出ません。

- 下記のような撮影条件では、再生画面がモザイク状になることがあります。
  - ・ 背景に複雑な絵柄がある場合
  - ・ 本機を大きくまたは速く動かした場合
  - ・ 動きのはげしい被写体を記録した場合

動画を見る(MPEG4 動画再生)

より詳しく(P82)

記録したMPEG4 動画ファイルを再生してみましょう。

❶ [MPEG4] モードに設定する(P19)

❷ 再生モードにする(P19)

❸ 再生ファイルを選ぶ

❹ [▶ SET]を押す

- 選んだファイル以降の番号のファイルを再生したあと、最後の場面で再生一時停止状態になります。
- [■]を押すと再生が停止し、全シーン表示となります。

操作について

[■]:停止

[❚❚]:一時停止(再生中に押す)

[再生中または一時停止中に ◀◀/▶▶]:頭出し(「ポン」と押す)

[再生中に ◀◀/▶▶]:早戻し / 早送り(約 1 秒以上押す)

- 早戻し/早送り中は、画面が静止画になり、再生時間のカウンターのみが戻り/進みます。
- 早戻し / 早送りは、次のファイルになると通常の再生に戻ります。早戻し / 早送りを続けるには、再度[◀◀]/[▶▶]を押してください。

- MPEG4 動画を再生すると、被写体の動きが速い場合などでは、モザイクが出たり、コマ落ちしますが、異常ではありません。

動画を見る(つづき)

■ 繰り返し再生(リピート再生)するには(P60)

全プログラムまたは全シーン画面で[MENU]を押し、[その他設定]で[リピート再生]を[オン]にする

●再生を始めると、リピート再生アイコンが表示されます。

●全プログラムまたは全シーン画面の画像は、映像の最初のフレームが表示されています。(例えば、最初の画面が黒の場合、黒色表示になります)

●テレビで見るには ➜ P40

●パソコン上で見るときは ➜ P63 ~ 70

音量を調整する

スピーカーの音量を調整します。

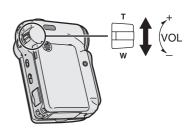
1 ボリュームレバーを押す

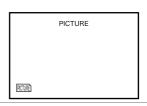
●音量調整画面が出ます。

●[+(T)]側に押す:音が大きくなる
[−(W)]側に押す:音が小さくなる

●音量調整後、約 1 秒間何も操作しなければ、自動的に音量調整画面は消えます。

静止画を撮る

より詳しく(P82)

カードに静止画を記録します。

・記録モードにしておいてください。(P19)

1 [PICTURE] モードに設定する (P19)

2 [MENU]を押す

3 多機能ボタンを使って、[記録機能設定]の[記録画質]を希望の設定にする

●[ファイン]、[ノーマル]から選びます。
●設定後、[MENU]を押します。

4 記録 / 停止ボタンを押す

●静止画がカードに記録されます。

●記録したシーンは、1 つの画像ファイルとしてカードに記録されます。
●音声は記録できません。
●逆光補正・白バランス ➜ P35
●記録画質ごとのカードに記録できる枚数のめやす ➜ P81

使ってみよう

静止画を見る

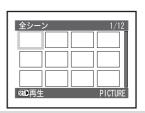
より詳しく(P82)

記録した静止画を再生してみましょう。

❶ [PICTURE] モードに設定する（P19）

❷ 再生モードにする(P19)

[REC/PLAY]
ボタンを押す

❸ 再生ファイルを選ぶ

❹ [▶ SET]を押す

- 選んだ静止画が再生されます。
- [■]を押すと再生が停止し、全シーン表示となります。

再生中の操作について
[■]:停止
[◀◀]:前の画像を表示
[▶▶]/[▶SET]:次の画像を表示

静止画を順番に再生する（スライドショー）

より詳しく(P82)

❶ 再生モードにする（P19）

❷ [MENU]を押す

❸ 多機能ボタンを使って、[その他設定]の[スライドショー]で[全画像]または[DPOF]を選ぶ

- 静止画が約5秒ずつ再生されます。(本機以外で記録された静止画を再生すると、通常より時間がかかる場合があります)
- [■]を押すと、スライドショーを停止します。

[全画像]：すべての静止画を順番に再生します。
[DPOF]：DPOF 設定（P46）されたすべての静止画を順番に再生します。

●テレビで見るには ➜ P40　●パソコン上で見るときは ➜ P63 〜 70

大きくまたは広く(広角に)撮る(ズームイン・アウト)

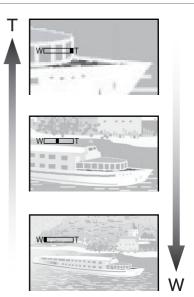
より詳しく(P82)

遠くの人や物を大きく撮ったり、景色などを広角に撮ることができます。

1 記録したい動作モードに設定する(P19)

2 大きく撮る(ズームイン):
[T]側に押す

広く撮る(ズームアウト):
[W]側に押す

●数秒間ズーム表示が出ます。

■ さらに大きく撮る(デジタルズーム)
[カメラ機能設定]メニューの[デジタルズーム]を[100 ×]または[25 ×]にする

●設定した倍率まで大きく撮れます。
●ズーム倍率が 10 倍より大きくなると、デジタルズームになります。

●デジタルズーム領域では、拡大するほど画質が悪くなります。

逆光で撮る(逆光補正)

より詳しく(P82)

逆光で人物などが暗くなる場合に、画面を明るくします。

1 記録したい動作モードに設定する(P19)

2 [逆光補正アイコン](上ボタン)を押す

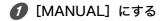
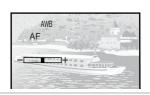
- 画面が明るくなります。
(再度押すと、逆光補正が解除されます)

- 電源を[OFF]にすると、逆光補正は解除されます。

自然な色合いで撮る(白バランス設定)

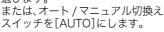
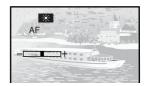
より詳しく(P83)

本機のオートホワイト(白)バランス機能により、通常は自動で自然な色合いに撮ることができます。しかしシーン・光源によっては、自然な色合いで撮れないことがあります。この場合に白バランスを設定し、色合いを調整します。

1 [MANUAL] にする

2 [SELECT]にスライドして、[AWB]を選ぶ

- [AWB]が黒色に反転して表示されます。

3 [▶ SET]を押して、白バランスのモードを選ぶ

- 白バランス設定を解除するには、再度[▶ SET]を押し、[AWB]を選びます。
または、オート / マニュアル切換えスイッチを[AUTO]にします。

自然な色合いで撮る(白バランス設定)(つづき)

■ 白バランスのモードについて

表示	モード	記録条件
AWB	オートモード	—
	屋内(白熱電球)モード	白熱電球、ハロゲンランプ
	屋外モード	屋外の晴天下
	蛍光灯モード	蛍光灯(当社のパルック蛍光灯など)
	セットモード	●水銀灯、ナトリウムランプ、一部の蛍光灯 ●ホテルの結婚式場のライトや劇場のスポットライト ●日没・日の出など

AWB:Auto(オート) White(ホワイト) Balance(バランス) の略です。

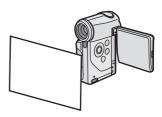
■ 白バランスセンサーについて

撮影時の光源がどのようなものか判断します。

●撮影時に白バランスセンサーの前を手などでふさがないでください。白バランスが正常に働きません。

■ 手動で白バランスを設定する(セットモード)

画面いっぱいに白い被写体(白紙など)を映しながら、[ ]表示が点滅から点灯に変わるまで、[▶ SET]を押し続ける

●オート / マニュアル切換えスイッチを[AUTO]にすると、白バランスのセットモードは解除されます。

●以下の場合は、[ ]表示が点滅します。
- ・光が弱いときなど、白バランス設定ができない場合
- ・以前にセットモードで設定した内容が保持されている場合(再度設定するまで、その内容を記憶しています)

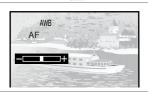
●デジタルズーム領域では、白バランスのモードは変更できません。

明るさを調整して撮る（露出設定）

より詳しく（P83）

場面が明るすぎるときや暗すぎるときに調整できます。

❶ [MANUAL] にする

❷ [SELECT]にスライドして、
[－▭▭+]を選ぶ

- [－▭▭+]が黒色に反転して表示されます。

❸ 多機能ボタンの左（◀◀）または右（▶▶）を押して、調整する

- バー（▮）が右（+）に移動するほど明るくなります。
- 露出設定を解除するには、オート／マニュアル切換えスイッチを[AUTO]にします。

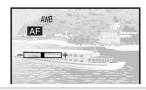
手動でピントを合わせて撮る（マニュアルフォーカス設定）

より詳しく（P83）

自動でピントが合いにくいとき、ピント（フォーカス）を手動で調整できます。

❶ [MANUAL] にする

❷ [SELECT]にスライドして、[AF]を選ぶ

- [AF]が黒色に反転して表示されます。

❸ [▶ SET]を押して、[MF]にする

❹ 多機能ボタンの左（◀◀）または右（▶▶）を押して、調整する

- マニュアルフォーカス設定を解除するには、再度[▶ SET]を押し、[AF]を選びます。または、オート／マニュアル切換えスイッチを[AUTO]にします。

いろいろな場面で撮る(プログラム AE)

撮りたい場面に合わせて、自動でシャッター速度や露出を調整します。

1 [MENU] を押す

2 多機能ボタンを使って、[カメラ機能設定]の[プログラム AE]で希望のモードを選ぶ

■ プログラム AE のモードについて

表示	モード	記録条件
なし	オート	—
	スポーツ	スポーツシーンなど、動きの速い場面で
	ポートレート	背景をぼかして、手前の人物を引き立たせる
	ローライト	夕暮れなど暗い場面で明るく
	スポットライト	スポットライトが当たる人物をきれいに
	サーフ＆スノー	海辺やスキー場などまぶしい場面で

●オート / マニュアル切換えスイッチを[AUTO]にすると、プログラム AE は[オート]になります。

＜オートモード＞

●蛍光灯下では、画面の色や明るさが変化することがあります。

＜スポーツモード＞

●撮ったものをスロー再生や一時停止したときに、ぶれの少ない映像になります。

●通常の再生では、画面の変わりかたがなめらかには見えません。

●蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明は避けてください。色合いや画面の明るさが変わることがあります。

●明るく光っているものや反射の強いものは、縦方向に光の帯が出ることがあります。

●明るさが足りない場合は、スポーツモードが働きません。このときは「 」が点滅します。

●屋内で使うと、画面がちらつくことがあります。

＜ポートレートモード＞

●屋内で使うと、画面がちらつくことがあります。

＜ローライトモード＞

●極端に暗い場面では、きれいに撮れないことがあります。

＜スポットライトモード＞

●撮りたいものが極端に明るい場合、映像が白っぽくなることがあります。また、周囲が極端に暗くなることがあります。

＜サーフ＆スノーモード＞

●撮りたいものが極端に明るい場合、映像が白っぽくなることがあります。

ぶれを少なくして撮る(手ぶれ補正)

本機を手に持って拡大して撮影するときや、歩きながら撮るときなど、手ぶれが起きやすい場面でも、自動で補正します。

1 [MENU] を押す

MENU

2 多機能ボタンを使って、[カメラ機能設定]の[手ぶれ補正]を[オン]にする

●[((✋))]が表示されます。

●電源を切っても、手ぶれ補正の設定は記憶されています。
●ぶれが大きいときや、動きのある被写体を追いながら記録した場合、補正できないことがあります。
●蛍光灯下では、画面の色や明るさが変化することがあります。
●デジタルズーム使用時は、手ぶれ補正が効きにくくなることがあります。

風の強いときに撮る(ウインドカット)

本機の内蔵マイクで録音するとき、風の音を低減させます。
記録時にマイクに入る音のうち、低域の部分がカットされるため、対象の音が聞きとりやすくなります。

1 [MENU] を押す

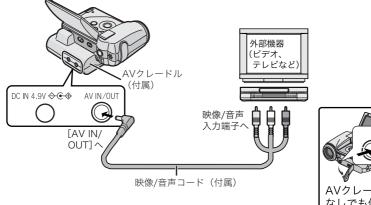
2 多機能ボタンを使って、[カメラ機能設定]の[ウインドカット]を[オン]にする

●[WIND CUT]が表示されます。

●電源を切っても、ウインドカットの設定は記憶されています。
●ウインドカットは、動画撮影時のみ設定できます。

テレビなどの外部機器で映像を見る *より詳しく(P83)*

映像を外部機器で楽しめます。

AVクレードル
なしでも使えます。

1 接続する(上記参照)

●接続時は本機の電源を[OFF]にしてください。

2 (電源を[ON]にしたあと、) 再生モードにする(P19)

3 再生したいモード(MPEG2/MPEG4/PICTURE)に設定する(P19)

MODE

4 再生ファイルを選び、[▶ SET]を押す

●再生が始まります。

MPEG2 モードの例

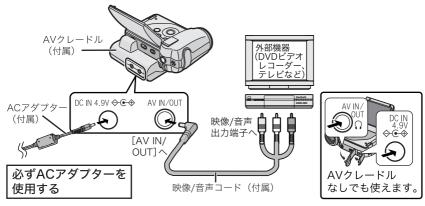
●再生方法の詳細については、各モードのページをお読みください。

●画面の表示を消すには、メニュー画面で[その他設定]の[再生表示設定]を[オフ]にします。(P60)

●AC アダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。

外部機器から映像を記録する

より詳しく(P83)

外部機器の映像を本機で記録します。

1 接続する(上記参照)

●接続時は本機の電源を[OFF]にしてください。

2 (電源を[ON]にしたあと、)

[MENU]を押し、多機能ボタンを使って、[記録機能設定]の[入力切換]を[外部]にする

3 記録したいモード(MPEG2/MPEG4/PICTURE)に設定する

4 画質を設定する(P25、27、31)

5 外部機器を設定する

●本機の液晶モニターに外部機器の映像が出るか、スピーカーから音声が出るかなどを確認してください。

6 記録 / 停止ボタンを押す

●記録が始まります。動画の場合は、再度押すと記録が停止します。

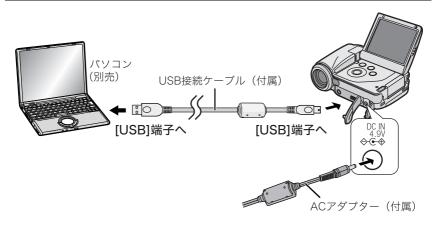
●著作権保護の信号(コピーガード)が入っている映像は記録できません。
●電源を[OFF]にすると、[入力切換]は[カメラ]に戻ります。
●外部入力しないときは、[入力切換]を[カメラ]にしておいてください。
●上記接続後、本機を再生モードにして再生すると、音声が出ないことがあります。この場合、映像 / 音声コードを抜いて再度接続し直すか、電源を入れ直してください。

パソコンに映像を保存する

本機で記録した映像をパソコンに保存します。
カードの容量がいっぱいになったときや誤消去防止のために、カード内のファイルをパソコンに保存してください。

- 詳しくはP63からの「パソコンで」編をご覧ください。

- USBドライバーをインストールしてから、USB接続ケーブルをつないでください。
- ACアダプターとバッテリーの両方をお使いください。
  どちらか一方だけでは、パソコンに接続して使うことはできません。

❶ 上記のようにUSB接続する

- 本機はパソコン専用モードになります。
  （本機からの操作はできなくなります）

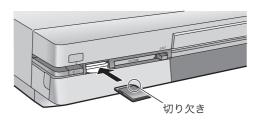
- AVクレードルに付けて使用することもできます。この場合、USB 端子のカバーを外してから、AV クレードルに接続してください。
- カード内のデータをパソコン側から削除したり、フォーマットしないでください。

DVD ビデオレコーダーのハードディスクに記録する

より詳しく(P83)

ハードディスク付きの当社製 DVD ビデオレコーダーDMR-E100H(別売)や DMR-E200H(別売)をお持ちの場合、本機で記録した映像をハードディスクやDVD-RAMディスクに記録できます。
カードの容量がいっぱいになったときや誤消去防止のために、カード内のファイルを DVD ビデオレコーダーのハードディスクや DVD-RAM ディスクに記録してください。

●**詳しくは、DVD ビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。**

1 本機から記録済みのカードを取り出す

●本機の電源を[OFF]にしてから、カードを取り出してください。

2 DVD ビデオレコーダーのカードスロットに入れる

●ハードディスクへの記録方法などは、DVD ビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

●ハードディスクや DVD-RAM ディスクに記録した映像は、DVDビデオレコーディング形式に変換されますので、DVD-Rディスクへの高速ダビングや SD カードへの MPEG2 形式でのダビングはできません。
●プレイリスト(P48)はコピーできません。
●DMR-E100H や DMR-E200H を使って MPEG4録画したテレビ番組などをSDメモリーカードにダビングすると、本機でも再生することができます。

再生メニューを使う

記録した映像の編集や設定を行います。
（再生メニューの各項目の詳細について ➜ P74）

●再生メニュー画面の操作方法は、記録モードのメニュー操作（P20）と同様です。

1 再生モードにする（P19）

2 ［MENU］を押す

上下でメイン
メニューを選ぶ

シーン　MPEG2/MPEG4/PICTURE

動画の場合は、記録 / 停止ボタンを押して記録を開始し、再度記録 / 停止ボタンを押して記録を停止するまでの映像が、静止画の場合は、記録 / 停止ボタンを押して記録した 1 枚の画像が 1 つのシーンです。

記録したシーンは、1 つの画像ファイルとしてカードに記録されます。

■ 削除*（より詳しく（P84））*　MPEG2　MPEG4　PICTURE

不要になったシーンを削除します。

1 ［シーン］の［削除］を選び、
［▶ SET］を押す

2 削除したいシーンを選び、
［▶ SET］を押す

❸ 確認画面が出たら、[はい]を選び、[▶ SET]を押す

●削除しない場合は、[いいえ]を選んでください。

●**一度削除したファイルは元に戻りません。よく確認してから削除してください。**
●ロックされたファイルは削除できません。ロックを解除してから削除してください。
●SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが[LOCK]側になっていると、シーンの削除はできません。(P98)
●パソコンと接続中に、パソコン側からファイルを削除しないでください。

■ ロック設定

MPEG2 MPEG4 PICTURE

シーンをロック(誤消去防止)します。

❶ [シーン] の [ロック設定] を選び、[▶ SET] を押す

❷ ロックしたいシーンを選び、[▶ SET]を押す

●ロックされたシーンには、[ ]が表示されます。
●ロック設定を解除するには、設定済みのシーンを選び、[▶ SET]を押してください。

●ロック設定は本機でのみ有効です。
●ロック設定をしていても、カードをフォーマット(P59)すると、シーンは消去されます。

■ 情報表示

MPEG2 MPEG4 PICTURE

シーンの記録日時や記録時間、ロック /DPOF などの設定情報を表示します。

1 [シーン] の [情報表示] を選び、[▶ SET] を押す

2 情報を知りたいシーンを多機能ボタンの左(◀◀)または右(▶▶)で選ぶ

- シーン情報が表示されます。
  - ・動画　：シーン番号、記録画質、記録日時、ロック設定
  - ・静止画：シーン番号、フォルダ/ファイル番号、記録日時、ロック設定、DPOF 設定(設定枚数)
- ◀◀/▶▶ を押すごとに、前の / 次のシーン情報を見ることができます。

シーン情報表示
シーンNo. 1
ﾌｧｲﾝ 5分30秒
日時：2003. 12. 31 11:07:15
ロック：なし
◀前へ ▶次へ Menu戻る

■ DPOF 設定 *(より詳しく(P84))*

PICTURE

プリントしたい静止画、枚数などの情報(DPOF データ)をカードに書き込みます。

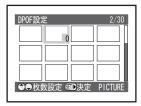
1 [PICTURE] モードにする (P19)

2 [シーン]の[DPOF 設定]で[画像選択]を選び、[▶ SET]を押す

3 設定したい画像を選び、[▶ SET]を押す

- 選んだ画像の右下に、現在の設定枚数が表示されます。

❹ 多機能ボタンの上(❚❚)または下(■)で枚数を設定し、[▶ SET]を押す

DPOF設定 2/30
SET/▶決定 Menu戻る PICTURE

●DPOF 設定されたシーンには、[ ]が表示されます。

■ DPOF 設定を解除するには

設定を解除したい画像を選び、枚数を[0]に設定する

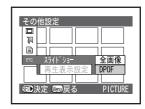
■ DPOF 設定をすべて解除するには

1 [シーン]の[DPOF 設定]を[全て解除]にする

2 確認画面が出たら、[はい]を選び、[▶ SET]を押す

■ DPOF 設定をスライドショーで確認するには

1 [その他設定]の[スライドショー]で[DPOF]を選び、[▶ SET]を押す

●DPOF 設定した画像が約 5 秒ずつ表示されます。(本機以外で記録された静止画を再生すると、通常より時間がかかる場合があります)

●DPOF は静止画のみ設定できます。
●プリント枚数は 0 ～ 99 枚まで設定できます。
●DPOF 設定(解除)するファイル数が多いと、時間がかかる場合があります。

プレイリスト　MPEG2

プレイリストとは、記録したシーンの中からお好みのシーンだけを自由に並べ替えて、つなぎ合わせたリストのことです。プレイリストは、最大99個まで作ることができます。(MPEG2 モードのときのみ、メニュー項目に表示されます)

・再生メニューを表示させておいてください。(P44)

■ 新規作成*(より詳しく(P84))*

新しいプレイリストを作成します。

1 ［プレイリスト］の［新規作成］を選び、［▶ SET］を押す

2 プレイリストに追加したいシーンを選び、［▶ SET]を押す

●追加したシーンは、画面下段のプレイリストに表示されます。
●カーソルを画面下段に移し、追加位置を選ぶことができます。

■ プレイリストから不要なシーンを削除するには

1 カーソルを画面下段に移し、削除したいシーンを選び、[▶ SET]を押す

3 手順**2**を繰り返し、希望のシーンをすべて追加したら、[MENU]を押す

4 確認画面が出たら、[はい]を選び、［▶ SET]を押す

●作成したプレイリスト画面が表示されます。

■ 切換

プレイリストごとの再生画面に切り換えます。

1 ［プレイリスト］の［切換］を選び、［▶ SET］を押す

2 表示させたいプレイリストを選び、［▶ SET］を押す

- すべてのシーンの再生画面に戻すには、［全プログラム］を選んでください。

■ 再生

プレイリストを再生します。

1 ［プレイリスト］の［再生］を選び、［▶ SET］を押す

2 再生したいプレイリストを選び、［▶ SET］を押す

- 選んだプレイリストが最初から再生されます。再生をやめるには、［■］ボタンを押してください。

- プレイリストを作成したり、プレイリストからシーンを削除しても、元のシーンはなくなりません。
- プレイリストに含まれている元のシーンを削除すると、プレイリストからも削除されます。
- 1 つのプレイリストに登録できるのは、99 シーンまでです。
- プレイリストのタイトルは、プレイリストを作成した日時となります。
- ［リピート再生］を［オン］にすると、プレイリストも繰り返し再生されます。

再生メニューを使う(つづき)

■ 編集

プレイリストにシーンを追加したり、不要なシーンを削除します。

1 [プレイリスト] の [編集] を選び、[▶ SET] を押す

2 編集したいプレイリストを選び、[▶ SET]を押す

● シーンの追加

1 多機能ボタンの下 (■) を押してカーソルを下段に移し、左(◀◀)または右(▶▶)で追加する位置 (I) を選ぶ

2 多機能ボタンの上(❚❚)を押してカーソルを上段に移し、左(◀◀)または右(▶▶)で追加したいシーンを選び、[▶ SET]を押す

3 手順**1**、**2**を繰り返し、希望のシーンをすべて追加したら、[MENU]を押す

4 確認画面が出たら、[はい]を選び、[▶ SET]を押す

●編集されたプレイリスト画面が表示されます。

● シーンの削除

1 多機能ボタンの下（■）を押してカーソルを下段に移し、左（◀◀）または右（▶▶）で削除するシーンを選び、［▶ SET］を押す

2 手順 **1** を繰り返し、希望のシーンをすべて削除したら、[MENU]を押す

3 確認画面が出たら、[はい]を選び、[▶ SET]を押す

●編集されたプレイリスト画面が表示されます。

●プレイリストにシーンを追加 / 削除しても、元のシーンはなくなりません。

●プレイリストからすべてのシーンを削除すると、「登録シーンが全て削除されたため、編集されたプレイリストを削除しました。」と表示され、プレイリストも削除されます。(P79)

より楽しく

再生メニューを使う(つづき)

■ タイトル変更

プレイリストのタイトルを変更します。
プレイリストのタイトルは、最初プレイリストを作成した日時となっています。

1 [プレイリスト] の [タイトル変更] を選び、
[▶ SET] を押す

2 編集したいプレイリストを選び、
[▶ SET]を押す

3 (不要なタイトルの文字を削除してから、)
文字を選び、[▶ SET]を押す

- 文字を消すには、[削除]を選んでください。
- スペース(空白)を入れるには、タイトル入力枠にカーソルを移動させて、[▶ SET]を押してください。
- 最大 20 文字まで入力できます。
ただし、16 文字以上で作成されたタイトルは、プレイリスト画面では14文字目以降は「. . 」で表示されます。

タイトル入力枠

4 手順 3 を繰り返し、入力が終わったら、
[登録]を選び、[▶ SET]を押す

- タイトル変更を中止するには、[中止]を選び、確認画面で[はい]を選んでください。

5 確認画面が出たら、[はい]を選び、
[▶ SET]を押す

タイトル ハッピョウカイ
入力文字列を登録します。
よろしいですか?
はい いいえ
決定

● 入力モード

タイトルには、[カナ]、[英数]、[記号]、[定型]があります。
入力モードを選んで[▶ SET]を押すごとに、タイトル入力画面が変わります。

<カナモード>

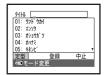
<英数モード>

<記号モード>

<定型モード>

■ 削除

プレイリストを削除します。

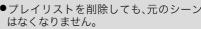
1 [プレイリスト] の [削除] を選び、
[▶ SET] を押す

2 削除したいプレイリストを選び、
[▶ SET]を押す

3 確認画面が出たら、[はい]を選び、
[▶ SET]を押す

- 本機で設定したタイトルは、他の機器で表示されないことがあります。
- 他の機器で設定されたタイトルを本機で変更しないでください。

- プレイリストを削除しても、元のシーンはなくなりません。

より楽しく

再生メニューを使う(つづき)

プログラム

MPEG2

プログラムとは、記録した日付ごとのシーンのまとまりです。
(MPEG2 モードのときのみ、メニュー項目に表示されます)

・再生メニューを表示させておいてください。(P44)

■ 切換

プログラムごとの再生画面に切り換えます。

1 [プログラム] の [切換] を選び、
[▶ SET] を押す

2 表示させたいプログラムを選び、
[▶ SET]を押す

●すべてのシーンの再生画面に戻すには、
[全プログラム]を選んでください。

■ 再生

プログラムを再生します。

1 [プログラム] の [再生] を選び、
[▶ SET] を押す

2 再生したいプログラムを選び、
[▶ SET]を押す

●選んだプログラムが最初から再生されます。
再生をやめるには、[■]ボタンを押してください。

■ タイトル変更

プログラムのタイトルを変更します。
プログラムのタイトルは、記録した日付になっています。

1 [プログラム] の [タイトル変更] を選び、
[▶ SET] を押す

2 編集したいプログラムを選び、
[▶ SET]を押す

● タイトルの設定方法(➜ P52)

3 入力が終わったら、[登録]を選び、
[▶ SET]を押す

● タイトル変更を中止するには、[中止]を選び、確認画面で[はい]を選んでください。

4 確認画面が出たら、[はい]を選び、
[▶ SET]を押す

● 1 枚のカードに記録できるプログラムは、99 個までです。
● 本機で設定したタイトルは、他の機器で表示されないことがあります。
● [リピート再生]を[オン]にすると、プログラムも繰り返し再生されます。

より楽しく

ジャンプ　MPEG2/MPEG4/PICTURE

先頭 / 末尾のシーンにカーソルがジャンプします。

・再生メニューを表示させておいてください。(P44)

■ 先頭へ / 末尾へ

1 [ジャンプ]の[先頭へ]または[末尾へ]を選び、[▶ SET] を押す

●全プログラムまたは全シーン画面で、カーソルが先頭 / 末尾のシーンに移動します。

■ 再生中にジャンプするには

1 再生中または再生の一時停止中に[MENU]を押す

●それぞれの場面にジャンプしたあと、一時停止します。

・**先頭へ**： 先頭のシーンの最初の場面
・**末尾へ**： 末尾のシーンの最後の場面
（MPEG4 動画は、末尾のシーンの最初の場面）
・**指定**　： 任意の場面（下記参照）

■ 指定（ジャンプ先を指定する）

1 再生中または再生の一時停止中に[MENU]を押す

2 [指定]を選ぶ

3 多機能ボタンの左（◀◀）または右（▶▶）でジャンプ先を選び、[▶ SET]を押して決定する

● [MPEG2]：
左（◀◀）または右（▶▶）ボタンをポンと押すと10秒ごとに、押し続けると1分ごとにカーソルが移動します。

● [MPEG4/PICTURE]：
左（◀◀）または右（▶▶）ボタンをポンと押すと1 シーンごとに、押し続けると 10 シーンごとにカーソルが移動します。

[MPEG2]

[MPEG4/PICTURE]

カード　MPEG2/MPEG4/PICTURE

・再生メニューを表示させておいてください。(P44)

■ 残量表示

動作モードごとの、カードに記録できる時間(または枚数)を表示します。

1 [カード] の [残量表示] を選び、
[▶ SET] を押す

●SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが[LOCK]側になっていると、残量表示はすべて「0」と表示されます。

再生メニューを使う(つづき)

■ クリーンアップ

SD メモリーカードのデータ書き込み速度低下を回復させます。
MPEG2 記録時に不具合が生じる恐れがあるため、お出かけ前など、事前に本機でクリーンアップすることをおすすめします。(P24)

❶ ［カード］の［クリーンアップ］を選び、
［▶ SET］を押す

❷ 確認画面が出たら、[はい]を選び、
[▶ SET]を押す

- 当社製およびその他の接続検証済みカード以外では、クリーンアップできません。
- クリーンアップは、カードの空き領域について書き込み速度を回復させる機能です。クリーンアップを行った場合、終了するまで時間がかかる場合があります。
- クリーンアップ中はカードを抜かないでください。
- クリーンアップを行っても、シーンやプレイリストに影響はありません。

■ フォーマット*(より詳しく(P84))*

フォーマットすると、カードに記録されているすべてのデータ(ファイル)は消去され、元に戻すことができません。よく確認してからフォーマットしてください。

1 [カード] の [フォーマット] を選び、[▶ SET] を押す

2 確認画面が出たら、[はい]を選び、[▶ SET]を押す

- **通常はカードをフォーマットする必要はありません。**
- SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが[LOCK]側になっていると、フォーマットできません。
- ロックしたファイルも消去されます。
- 記録・再生に失敗するなど、カードが不安定になってきた場合は、一度フォーマットしてみてください。
- パソコンと接続中に、パソコン側からカードをフォーマットしないでください。

ETC その他設定　MPEG2/MPEG4/PICTURE

・再生メニューを表示させておいてください。(P44)

■ リピート再生(➜P30)　MPEG2 MPEG4

繰り返し再生(リピート再生)をします。

1 [その他設定] の [リピート再生] で [オン] を選び、[▶ SET] を押す

2 再生する

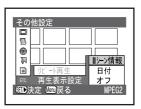
●リピート再生アイコンが表示されます。

●電源を切ると、リピート再生は解除されます。

●[リピート再生]を[オン]にすると、プレイリストやプログラムも繰り返し再生されます。

■ 再生表示設定　MPEG2 MPEG4 PICTURE

再生時に画面表示させる情報を設定します。

1 [その他設定] の [再生表示設定] で希望の設定を選び、[▶ SET] を押す

・**シーン情報**：プログラムやプレイリストの
シーン番号やカウンター、現在の再生動作などを表示します。

・**日付**：シーンの記録開始日時を表示します。
再生しても、日時表示は進みません。

・**オフ**：再生時の画面表示を消します。

■ スライドショー(➜P33) PICTURE

静止画を順番に再生します。

1 ［その他設定］の［スライドショー］で［全画像］または［DPOF］を選び、［▶ SET］を押す

その他設定
ETC. スライドショー 全画像
再生表示設定 DPOF
SET決定 Menu戻る PICTURE

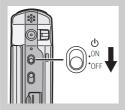
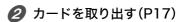
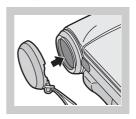
- 静止画が約 5 秒ずつ再生されます。
  (本機以外で記録された静止画を再生すると、通常より時間がかかる場合があります)
- ［■］を押すと、スライドショーを停止します。

・**全画像**　：すべての静止画を順番に再生します。
・**DPOF**　：DPOF 設定されたすべての静止画を順番に再生します。

使い終わったら

❶ 電源を切る（P19）

❷ カードを取り出す(P17)

❸ 液晶モニターを閉じる(P18)

❹ レンズキャップを付ける(P72)

■ 長時間使用しないときは、バッテリーを外す(P13)

●年月日は内蔵電池で記憶していますので、バッテリーを外しても合わせ直す必要はありません。(P22)

パソコンで使う

●USB ドライバー(付属)をインストールすると、本機とパソコンを接続して使えます。
●CD-ROM(付属)に入っている MediaStage for AV100 を使うと、映像や音声を簡単に楽しめます。

パソコン(別売)

MediaStage for AV100
・カードの内容が一目でわかる
・ファイルの整理が簡単にできる
・プレイリストの作成・再生

USB ドライバー/MediaStage for AV100 動作環境

以下の環境でご使用いただけます。

対象パソコン	Microsoft® Windows XP Home Edition/ Windows XP Professional/Windows 2000 Professional/ Windows Me/Windows 98SE 日本語版がプリインストールされた IBM® PC/AT 互換機
CPU	Intel® Celeron® 800 MHz 以上 Intel® Pentium® III 600 MHz 以上
搭載メモリー	256 MB 以上
ハードディスク	400 MB 以上の空き容量(MediaStage for AV100)
グラフィック表示	High Color (16 bit) 以上 /800 × 600 以上
インターフェース	USB 端子
ドライブ	CD-ROM ドライブ
その他	●Microsoft® Windows Media™ Player 6.4 以降 ●Microsoft® Internet Explorer 5.0 以降 ●DirectX® 8.1 以降 ●マウスまたはマウスと同等のポインティングデバイス

●上記の動作環境のパソコンすべてにおいて、動作を保証するものではありません。
●Hyper Threading やマルチ CPU タイプのパソコンには対応しておりません。
●USB ハブを経由する場合や USB カードをご使用の場合は、動作保証の対象外とさせていただきます。
●Windows XP/2000 をお使いの場合は、ユーザー名を[Administrator(コンピュータの管理者)](もしくはこれと同等の権限を持つユーザー名)にしてログオンしてからインストールしてください。
●インストール前に、P7 のソフトウェア使用許諾書をよくお読みください。

MediaStage & USBドライバーのインストール

●インストール前に他のアプリケーション、または他のアプリケーションのインストールをすべて終了させてください。
●USB ドライバーが自動でインストールされます。
USB 接続ケーブルをつなぐ前に、必ず USB ドライバーをインストールしてください。

1 CD-ROM（付属）をパソコンに入れる

●Setup Menu 画面が自動で表示されない場合は、
CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2 [MediaStage & USB Driver のインストール]をクリックする

3 [次へ]をクリックする

4 よく読んで、内容に同意される場合、[はい]をクリックする

●[いいえ]をクリックすると、MediaStage for AV100 はインストールされません。

5 [次へ]をクリックする

6 [はい]をクリックする

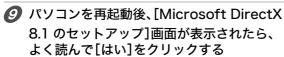
●[いいえ]をクリックすると、デスクトップにショートカットアイコンは表示されません。

7 [はい]をクリックする

●Windows XPをお使いの場合、この画面は表示されません。

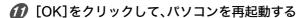
8 [完了]をクリックする

- パソコンを再起動します。
- Windows XP をお使いの場合、これでインストールは完了です。
  再起動後にMediaStage for AV100が使用できます。

9 パソコンを再起動後、[Microsoft DirectX 8.1 のセットアップ]画面が表示されたら、よく読んで[はい]をクリックする

- [いいえ]をクリックすると、MediaStage for AV100はご使用になれません。

10 [インストール]をクリックする

- [DirectX 8.1]がインストールされます。

11 [OK]をクリックして、パソコンを再起動する

- 再起動後、MediaStage for AV100 が使用できます。

MediaStage for AV100 を起動する

より詳しく(P84)

1 [スタート] → [すべてのプログラム(プログラム)] → [Panasonic] → [MediaStage for AV100] → [MediaStage for AV100] を選ぶ

- MediaStage for AV100 の使用方法などについては、本書には記載しておりません。
  同時にインストールされる PDF 説明書をお読みください。

- PDF 説明書を読むには Adobe Acrobat Reader が必要です。
  (Setup Menu 画面で、[Acrobat Reader のインストール]をクリックしてください)
- MediaStage for AV100 を使って MPEG2 動画を再生したときに、コマ落ちや音途切れが発生する場合 ➜ P85

MediaStage for AV100をアンインストールする

他のアプリケーションを終了させてから、アンインストールしてください。

1 [スタート](→[設定])→[コントロールパネル]をクリックする

2 [プログラム(アプリケーション)の追加と削除]をダブルクリックする

3 [MediaStage for AV100]を選ぶ

4 [変更と削除]([変更 / 削除]または[追加と削除])をクリックする

5 削除の確認メッセージが表示されたら、[OK]をクリックする

USB ドライバーのインストール

[MediaStage & USB Driverのインストール]を実行している場合、USBドライバーはすでにインストールされていますので、インストールする必要はありません。

- **USB 接続ケーブルをつなぐ前に、必ず USB ドライバーをインストールしてください。**
- インストール前に他のアプリケーション、または他のアプリケーションのインストールをすべて終了させてください。

1 CD-ROM(付属)をパソコンに入れる

- Setup Menu 画面が自動で表示されない場合は、CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2 [USB Driver のインストール]をクリックする

3 [次へ]をクリックする

4 [完了]をクリックする

パソコン接続時のお願い(Windows 98SE 使用時)

USB ドライバーをインストールし、最初に本機をパソコンと接続したときに、[新しいハードウェアの追加ウィザード]画面が表示される場合があります。
以下の方法で操作を完了すると、パソコン側で本機を認識できます。

❶ [次へ] をクリックする

❷ [使用中のデバイスに最適なドライバーを検索する]が選ばれていることを確認し、[次へ]をクリックする

❸ CD-ROM(付属)をパソコンのCD-ROM ドライブに入れる

●インストール画面が表示された場合は、[終了]をクリックします。

❹ [検索場所の指定]のみを選び、[参照]をクリックする

❺ CD-ROMアイコンをダブルクリックし、[USB_Driver]をクリックして[OK]をクリックする

●手順 ❹ で[参照]をクリックせず「F:¥USB_Driver」と入力しての指定もできます。
(CD-ROM ドライブが F のとき)

❻ [次へ]をクリックする

❼ [次へ]をクリックする

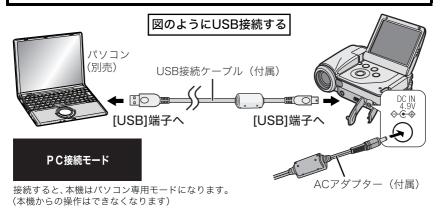
❽ [完了]をクリックする

パソコンで

パソコンと接続する

より詳しく(P85)

●USBドライバーをインストールしてから、USB接続ケーブルをつないでください。
●AC アダプターとバッテリーの両方をお使いください。
どちらか一方だけでは、パソコンに接続して使うことはできません。

接続すると、本機はパソコン専用モードになります。
(本機からの操作はできなくなります)

■ 初めて本機をパソコンと接続したときは

「新しいハードウェアの検出(または追加)ウィザード」が表示されますので、画面の指示に従ってインストールを完了してください。

[Windows XP/Me/98SEをお使いの場合]

1 [次へ]をクリックする

2 (Windows XP をお使いのときに、下図のような画面が表示された場合)
[次へ]をクリックする

●どちらが選ばれていても、インストールには問題ありません。

3 (Windows XP をお使いの場合)
[続行]をクリックする

●Windows ロゴテストに関する警告文が表示されますが、[続行]を選んでもインストールには問題ありません。

4 [完了]をクリックする

●このあと、再度「新しいハードウェアの検出(または追加)ウィザード」が表示されますので、手順**1**〜**4**を繰り返してください。

[Windows 2000 をお使いの場合]

1 [はい]をクリックする

●デジタル署名に関する警告文が表示されますが、[はい]を選んでもインストールには問題ありません。
●このあと、再度デジタル署名に関する警告文が表示されますので、[はい]を選んでください。

■ USB 接続ケーブルを安全に外すには

Windows XP/2000をお使いの場合は、以下の方法でUSB接続ケーブルを外します。
Windows Me/98SE をお使いの場合は、カード動作中ランプが消灯しているのを確認して、そのまま抜いてください。(本機の電源は入れたままにしてください)

1 タスクトレイの アイコンをダブルクリックする

●ハードウェア取り外し画面が表示されます。

2 [Panasonic SD-Video CAMERA USB Interface]を選択し、[停止]をクリックする

3 [OK]をクリックする

●このあと、安全に USB 接続ケーブルを外すことができます。

●接続すると、[マイコンピュータ]に[リムーバブルディスク]アイコンが表示されます。
●本機側から操作するときは、USB接続ケーブルを抜いてください。
●パソコンと接続中は、カード扉を開けないでください。
●AV クレードルに付けて使用することもできます。この場合、USB 端子のカバーを外してから、AVクレードルに接続してください。
●カード内のデータをパソコン側から削除したり、フォーマットしないでください。
●パソコンに USB 端子が複数ある場合、使用するUSB端子ごとに認識作業が必要になります。
すべての USB 端子で USB ドライバーを設定(認識)させておくと、次回接続するときにどのUSB端子でも使えるので便利です。

カード内のデータについて

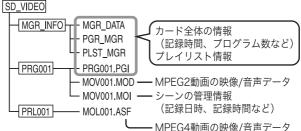
より詳しく(P85)

カード内のフォルダには以下のファイルが入っています。
ファイル名やフォルダ名を変更すると、本機で使えなくなる場合があります。
ファイル操作には、CD-ROM(付属)に入っている MediaStage for AV100 をお使いください。

[DCIM]

[100CDPFP]:
JPEG 形式(IMGA0001.JPG など)で記録された静止画(本機では100-0001などと表示されます)

[MISC]: 静止画に設定された DPOF データなど

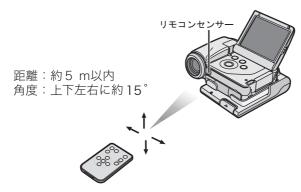
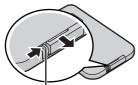
[SD_VIDEO]:
MPEG2形式(MOV001.MODなど)やMPEG4(ASF)形式(MOL001.ASF など)で記録された動画

■ 管理情報について

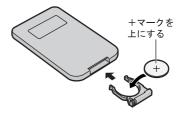
本機では、MPEG2 動画を記録するときに映像や音声データを記録するのと同時に、シーンの記録日時や記録時間などの情報もカードに書き込みます。これらの情報を管理情報といいます。

- シーンの管理情報やプレイリスト情報に異常が検出された場合、管理情報の修復やエラープレイリストの削除を促す警告文章が表示されることがあります。(P80)

付属品の使いかた

ワイヤレスリモコン

コイン電池は、幼児の手の届かないところに置いてください。

■ コイン電池（付属）を入れる

1 ホルダーを引き抜く

2 電池を入れて、ホルダーを戻す

- ワイヤレスリモコンの操作範囲は室内での使用時の値です。屋外やリモコンセンサー部に強い光が当たっているときは、この範囲内であっても操作できない場合があります。
- ワイヤレスリモコンを本機のリモコンセンサーの近くで操作しても動作しない場合は、コイン電池（CR2025）が消耗しています。新しい電池と交換してください。（電池の寿命は使用頻度にもよりますが、約１年です）

ソフトケース

持ち運びや保管の際にお使いください。

・**ソフトケースに入れるときは、必ず本機の電源を[OFF]にしておいてください。**

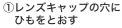
1 図の向きにして、ケースに入れる

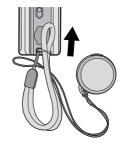
必ず図の向きでケースに入れてください

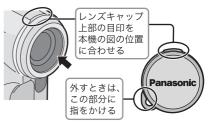
付属品の使いかた(つづき)

ハンドストラップ／レンズキャップ

ハンドストラップを付けておくと、持ち運びの際に便利です。
また、撮影しないときは、レンズ面保護のため、レンズキャップを付けてください。

1 レンズキャップにひもを付ける

2 ①レンズキャップ用ひもにとおす
②ハンドストラップ取付部にとおす

3 反対側を輪にとおし、引っ張る

4 レンズキャップを本機に付ける

「Panasonic」の文字が水平になるように付ける

本体スタンド

カードケースを本体スタンドとして使うことができます。
対面撮影時などに、本機を手で持たずに使うことができ、便利です。

1 カードケースを開く

2 溝を合わせて、本機をのせる

メニュー画面の表示（記録モード）

内容については関係するページをお読みください。

記録モード

[カメラ機能設定]

カメラ機能設定
- ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ AE — 1
- 手ぶれ補正 — 2
- ﾃﾞｼﾞﾀﾙｽﾞｰﾑ — 3
- ｳｲﾝﾄﾞｶｯﾄ — 4

[記録機能設定]

記録機能設定
- 記録画質 — 5
- 入力切換 — 6

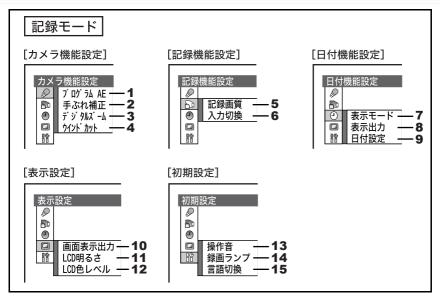
[日付機能設定]

日付機能設定
- 表示モード — 7
- 表示出力 — 8
- 日付設定 — 9

[表示設定]

表示設定
- 画面表示出力 — 10
- LCD明るさ — 11
- LCD色レベル — 12

[初期設定]

初期設定
- 操作音 — 13
- 録画ランプ — 14
- 言語切換 — 15

1 プログラム AE（P38）

2 手ぶれ補正（P39）

3 デジタルズーム（P34）

4 ウインドカット（P39）

（[PICTURE]モードに[ウインドカット]はありません）

5 記録画質（P25、27、31）

6 入力切換（P41）

7 表示モード（P23）

8 表示出力（P23）

9 日付設定（P22）

10 画面表示出力

記録モード時の画面表示を右図のように切り換えられます。

11 LCD 明るさ（P21）

12 LCD 色レベル（P21）

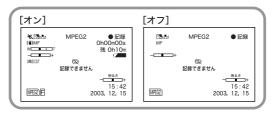
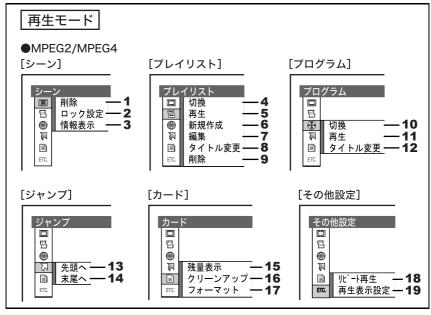
13 操作音

電源の[ON]/[OFF]、記録 / 停止時、警告表示時などに「ピッ」音が鳴ります。[オフ]にすると、鳴らなくなります。

14 録画ランプ（P24）

15 言語切換

メニューなどの画面表示を英語に切り換えることができます。

その他

メニュー画面の表示(再生モード)

● [MPEG2/MPEG4]モード

[シーン]
1 削除(P44)
2 ロック設定(P45)
3 情報表示(P46)

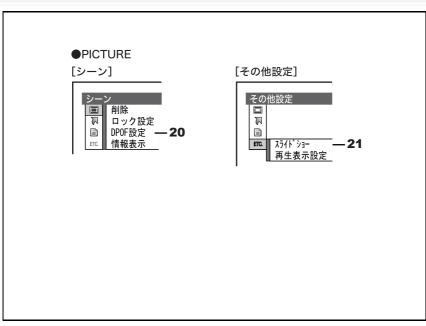
[プレイリスト]※
4 切換(P49)
5 再生(P49)
6 新規作成(P48)
7 編集(P50)
8 タイトル変更(P52)
9 削除(P53)

[プログラム]※
10 切換(P54)
11 再生(P54)
12 タイトル変更(P55)

[ジャンプ]
13 先頭へ(P56)
14 末尾へ(P56)

[カード]
15 残量表示(P57)
16 クリーンアップ(P58)
17 フォーマット(P59)

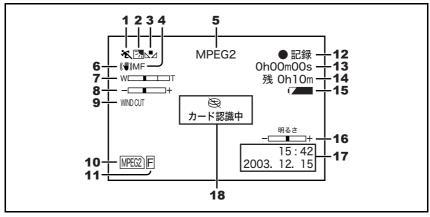
[その他設定]
18 リピート再生(P60)
19 再生表示設定(P60)

※印の項目は、[MPEG4]モードにはありません。

● [PICTURE]モード

[シーン]
20 DPOF 設定(P46)

[その他設定]
21 スライドショー(P61)

●[PICTURE]モードのその他の項目は、[MPEG4]モードと同じです。

画面の表示（記録モード）

1 プログラム AE（P38）

なし ： オート
： スポーツ
： ポートレート
： ローライト
： スポットライト
： サーフ＆スノー

2 逆光補正（P35）

3 白バランス（P35）

AWB ： オートモード
： 屋内（白熱電球）モード
： 屋外モード
： 蛍光灯モード
： セットモード

4 フォーカス設定（P37）

AF ： オートフォーカス
MF ： マニュアルフォーカス

5 動作モード（P19）

MPEG2 ：動画［MPEG2］モード
MPEG4 ：動画［MPEG4］モード
PICTURE：静止画［PICTURE］モード

6 手ぶれ補正（P39）

7 ズーム / デジタルズーム（P34）

8 露出設定（P37）

9 ウインドカット（P39）

10 カードモード

MPEG2（青）：MPEG2 動画記録モード
MPEG2（赤）：MPEG2 動画記録中
MPEG2（赤）：カードなし / カードがロックされています
MPEG4（青）：MPEG4 動画記録モード
MPEG4（赤）：MPEG4 動画記録中
MPEG4（赤）：カードなし / カードがロックされています
PICTURE（青）：静止画記録モード
PICTURE（赤）：静止画記録中
PICTURE（赤）：カードなし / カードがロックされています

11 記録画質（P25、27、31）

MPEG2 動画［MPEG2］/
静止画［PICTURE］（P25、31）

F ：ファイン
N ：ノーマル

MPEG4 動画［MPEG4］（P27）

SF ：スーパーファイン
F ：ファイン
N ：ノーマル
E ：エコノミー

12 動作状態

● 記録（赤）：記録中
●❚❚（緑）：記録一時停止

13 動画記録経過時間

14 カード残量

残 0h10m：動画残り記録可能時間
（残 0h00m で赤色点滅となります）
残 10 枚 ：静止画残り記録可能枚数
（残 0 枚で赤色点滅となります）

15 バッテリー残量

バッテリーの残量が少なくなるにつれ →→→（赤色点滅表示）→（赤色点滅表示）と変わります。バッテリーの残量表示が「」のときは、数分でバッテリーがなくなりますので充電してください。
（寒いところで使用される場合、数分で（赤色点滅表示）となる場合があります）

16 液晶モニター調節（P21）

明るさ ：液晶モニターの明るさ
色レベル：液晶モニターの色の濃さ

17 年月日、時刻（P22）

18 警告

：内蔵日付用電池が消耗しています。

［!］：対面撮影時に警告が出ています。液晶モニターを戻して内容を確認してください。

「カード認識中」
カードのチェック中です。

「カードがロックされています」
SD メモリーカードの書き込みスイッチが「LOCK」側になっています。（P98）

「プログラムナンバーオーバー」
1 枚のカードに記録できる MPEG2 動画のプログラム数がいっぱいになっています。不要なプログラム内のファイルをすべて削除するか、新しいカードを入れてください。

「カードを入れて下さい」
カードが入っていません。またはカードが途中までしか入っていない可能性があります。

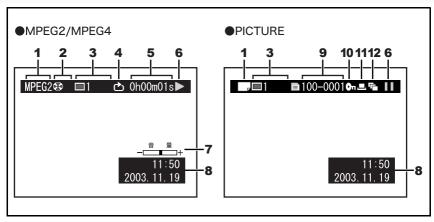
「カード残量がありません」
カードの容量がありません。不要なファイルを削除するか、新しいカードを入れてください。

「コピーガードがあり記録できません」
著作権保護の信号（コピーガード）が入っている映像を記録しようとしています。このデータは記録できません。

「バッテリーをとりかえて下さい」
バッテリー容量がなくなりましたので、充電してください。（P15）
または十分に充電したバッテリーと交換してください。

「カードが初期化されていません」
本機以外でフォーマットされたカードです。本機でフォーマットしてください。

「このカードは使えません」
未対応のカードです。本機で認識できません。フォーマットしてください。

画面の表示(再生モード)

1 動作モード(P19)

MPEG2 :動画[MPEG2]モード
MPEG4 :動画[MPEG4]モード
:静止画[PICTURE]モード

2 プログラム / プレイリスト再生

:全プログラム再生
01* :プログラム再生
(* プログラム番号)
01** :プレイリスト再生
(** プレイリスト番号)

3 シーン番号

4 リピート再生(P30、60)

5 動画再生経過時間

6 動作状態(P28、29、32)

▶ :再生
❚❚ :一時停止
◀◀/▶▶ :早戻し / 早送り再生
|◀◀ / ▶▶| :逆方向 / 正方向頭出し
◀❚❚/❚❚▶ :逆方向 / 正方向コマ送り
◀❚/❚▶ :逆方向/正方向スロー再生
|◀/▶| :最初/最後のシーンで一時停止

7 音量(P30)

8 年月日、時刻(P22)

9 フォルダ / ファイル番号

10 ロック設定(P45)

11 DPOF 設定(P46)

12 スライドショー(P33、61)

画面の表示（警告文章表示）

「カードを入れて下さい。」
カードが入っていません。

「カードのふたをとじて下さい。」
カード扉が開いています。カード扉を閉じてください。

「カードがロックされています。ロックを解除して下さい。」
SDメモリーカードの書き込みスイッチが「LOCK」側になっています。(P98)

「このカードは使えません。」
未対応のカードです。本機で認識できません。フォーマットしてください。(P59)

「このカードはフォーマットされていません。フォーマットしますか？」
本機以外でフォーマットされたカードです。本機でフォーマットしてください。

「このカードは MPEG2 記録できません。」
カードによっては、MPEG2 動画記録はできません。(P25)

「このカードは MPEG2 ファイン記録できません。」
カードによっては、MPEG2 動画を[ファイン]では記録できません。(P25)

「このカードは MPEG4 スーパーファイン記録できません。」
マルチメディアカードでは、MPEG4 動画を[スーパーファイン]で記録できません。

「MPEG2 記録が停止しました。カードの空き領域をクリーンアップしますか？」
MPEG2動画を記録中に記録が停止しました。クリーンアップを行ってください。(P58)

「エラーが発生しました。電源を入れ直して下さい。」
エラーが発生しました。一度電源を切り、再度電源を入れ直してください。

「記録データがありません。」
カードに動画 / 静止画が記録されていません。

「削除できません。」
ロック設定(P45)されたファイルを削除しようとしています。

「DPOF が設定されているシーンがありません。」
DPOF 設定(P46)されたシーンがないときに、スライドショー(P33、61)の[DPOF]を選択しました。

「プレイリストが登録されていません。」
プレイリストが 1 つも作成されていないため、[プレイリスト]の[切換]や[再生]などはできません。(P48)

「プレイリストのシーンはロックできません。」
プレイリストごとの再生画面に切り換えているときは、ロック設定(P45)はできません。

「プレイリスト中の関連シーンも削除されます。シーンを削除しますか？」
プレイリストに含まれているシーンを削除すると、プレイリストからもそのシーンが削除されます。(P49)

「登録シーンが全て削除されたため、編集されたプレイリストを削除しました。」
プレイリスト中のすべてのシーンを削除すると、プレイリストも削除されます。(P51)

画面の表示（警告文章表示）（つづき）

「登録可能なシーン数を超えています。シーンを登録できません。」
1 つのプレイリストに登録できるのは、99 シーンまでです。(P49)

「登録可能なプレイリスト数を超えています。」
すでに99個のプレイリストが登録されています。プレイリストの新規作成を行いたい場合は、不要なプレイリストを削除してください。(P53)

「AC アダプタとバッテリー両方を接続して下さい。」
パソコンと USB 接続するときは、必ず AC アダプターとバッテリーの両方を使用してください。(P42、68)

■ 修復について

MPEG2 モードでカードにアクセスしたときに、異常な管理情報やプレイリスト情報を読み込んだ場合、下記のような管理情報の修復やプレイリストの削除が表示されることがあります。(修復を行った場合、エラー内容によっては時間がかかることがあります)

[管理情報の修復]

「管理情報にエラーを検出しました。
ACアダプタを接続することを
お勧めします。」

「いいえ」

「修復を行いますか？」 ⇨ 「管理情報エラーの
ためこのカードは
MPEG2モードでは
使えません。」

ACアダプターを接続しているか、バッテリー残量が十分な場合	「管理情報は正常に修復されました。」
バッテリー残量が少ない場合	「ACアダプタを接続するか、バッテリーをとりかえて下さい。」

[プレイリストの削除]

「プレイリストにエラーを検出しました。
エラープレイリストを削除しますか？」

または

「プレイリストにエラーを検出しました。
全プレイリストを削除しますか？」

「いいえ」

「プレイリストエラーの
ためこのカードは
MPEG2モードでは
使えません。」

ACアダプターを接続しているか、バッテリー残量が十分な場合	エラーを検出したプレイリスト、または全プレイリストが削除されます。
バッテリー残量が少ない場合	「ACアダプタを接続するか、バッテリーをとりかえて下さい。」

- 修復を行うと、MPEG2 動画の記録 / 再生ができるようになりますので、必ず修復を行ってください。ただし、記録時間がファインで約 1 秒、ノーマルで約 1.5 秒以下の場合は、修復できません。
- エラープレイリスト、または全プレイリストを削除すると、MPEG2 動画の記録 / 再生ができるようになりますので、必ず削除してください。
- 他機で記録されたデータを修復すると、本機以外では再生できなくなることがあります。

より詳しく

■ バッテリーを入れる / 外す(P13)

- 長時間使用しないときは、バッテリーを外しておいてください。(P97)
- バッテリーを外すときは、落下させないようにお気を付けください。
- 本機の電源が入っているときに、バッテリーの付け外しや電源コードの抜き差しをしないでください。

■ バッテリーの充電(P15)

- 付属バッテリー1 本当たりの充電時間、記録時間 / 枚数のめやすは以下のとおりです。(使用状況・周囲の温度により記録時間 / 枚数 / 充電時間は変わります)

付属バッテリー1本あたり(温度25℃/湿度60%時)

充電時間	連続記録時間 (MPEG2)	連続記録時間 (MPEG4)	連続記録枚数 (PICTURE)
約145分	約1時間	約1時間	約600枚 (*)

間欠記録時間 (MPEG2)	間欠記録時間 (MPEG4)
約30分	約30分

(*)
6秒間隔で1回記録の場合

- 充電・使用中は本体などが温かくなりますが、故障ではありません。

■ カードを入れる(P17)

- カード裏の接続端子部には触れないでください。
- カード動作中ランプが点灯中(カードにアクセス中)は、下記の操作を行うと、カードやカードの内容が破壊されたり、本体が正常に動作しなくなることがあります。
  - ・ カードを抜き差しする
  - ・ バッテリーや AC アダプターを外す
  - ・ 振動や衝撃を与える
- カードが正しく入っているか確認してから、カード扉を閉じてください。
- カードを本機以外の機器やパソコンでフォーマットしないでください。使用できなくなる場合があります。
- 電気ノイズや静電気、本機・カードの故障などにより、カードやデータが壊れることがあります。大切なデータはパソコンなどにも保存することをおすすめします。

- カード１枚あたりの記録時間・枚数のめやすは以下のとおりです。(記録時間・枚数はシーンによって異なります)

カード1枚あたりの記録時間・枚数のめやす

MPEG2動画

	当社製SDメモリーカード	
カードの容量	F(ファイン)	N(ノーマル)
8 MB	記録不可	記録不可
16 MB	記録不可	記録不可
32 MB	記録不可	約1分
64 MB	記録不可	約2分
128 MB	記録不可	約5分
256 MB	約5分	約10分
512 MB	約10分	約20分

MPEG4動画

カードの容量	SF(スーパーファイン)	F(ファイン)
8 MB	約40秒	約1分30秒
16 MB	約1分30秒	約4分
32 MB	約3分	約8分
64 MB	約7分	約17分
128 MB	約15分	約35分
256 MB	約30分	約1時間10分
512 MB	約1時間	約2時間20分

カードの容量	N(ノーマル)	E(エコノミー)
8 MB	約2分	約7分
16 MB	約5分	約15分
32 MB	約10分	約35分
64 MB	約25分	約1時間10分
128 MB	約50分	約2時間30分
256 MB	約1時間40分	約5時間
512 MB	約3時間30分	約10時間10分

静止画(PICTURE)

カードの容量	F(ファイン)	N(ノーマル)
8 MB	約45枚	約95枚
16 MB	約100枚	約200枚
32 MB	約220枚	約440枚
64 MB	約440枚	約880枚
128 MB	約880枚	約1760枚
256 MB	約1760枚	約3520枚
512 MB	約3520枚	約7040枚

より詳しく(つづき)

■ メニュー画面を操作する(P20)

- 記録中は、メニュー画面は表示されません。
- 再生中に[MENU]ボタンを押すと、[ジャンプ]メニューが表示されます。(P56)

■ 動画を撮る(MPEG2 動画記録)(P25)

- 画像サイズは、[ファイン]で 704 × 480、[ノーマル]で 352 × 480 です。

■ 動画を撮る(MPEG4 動画記録)(P27)

- 画像サイズは、[スーパーファイン]/[ファイン]で 320 × 240(QVGA)、[ノーマル]/[エコノミー]で 176 × 144(QCIF)です。

■ 動画を見る(MPEG2/MPEG4 動画再生)(P28、29)

- 全プログラムまたは全シーン画面で、ファイル数が 12 以上ある場合、多機能ボタンを上(下)に押していくと、前の(次の)ページが表示されます。
- [エコノミー]以外で記録した MPEG4 動画は、当社製デジタルビデオカメラ NV-GS50K/GS70K/GS100K(別売)で再生すると、コマ落ちしますが、異常ではありません。
- 動画を再生すると、被写体の動きが速い場合などでは、モザイクが出たり、コマ落ちしますが、異常ではありません。
- 他機および他社のソフトウェアで記録されたファイルは、本機で再生できない場合があります。また、本機で記録されたファイルは他機で再生できなかったり、画像サイズが正確に表示されないことがあります。
- 動画ファイル名は16進数の連番で付けられます。
- 本機で再生できる動画はMPEG2/MPEG4形式のファイルです。(他機で記録されたものは、再生できない場合があります)

■ 静止画を撮る(P31)

- 画像サイズは 640 × 480(VGA)です。
- 全シーン画面でファイル数が12以上ある場合、多機能ボタンを上(下)に押していくと、前の(次の)ページが表示されます。
- N(ノーマル)に設定して記録すると、被写体によってはモザイク状の画面になります。

■ 静止画を見る(P32)

- 本機は電子情報技術産業協会(JEITA)で制定された統一規格DCF(Design rule for Camera File system)に準拠しています。
- 本機で再生できる静止画は JPEG 形式のファイルです。(他機で記録されたものは、再生できない場合があります)

■ 静止画を順番に再生する(スライドショー)(P33)

- 他機で記録した静止画など、ファイルによってはスライドショーの再生時間が長くなります。

■ 大きくまたは広く(広角に)撮る(ズームイン・アウト)(P34)

- 本機を手に持って拡大して撮影するときは、手ぶれ補正機能を使うことをおすすめします。(P39)
- ズーム速度が速いと、ピントが合わないことがあります。
- ズーム倍率 1 倍では、レンズから約 4 cm まで近づいて撮ることができます。
- ズームレバーを最後まで押し込むと、最速約2.0秒(記録中は約2.7秒)で1～10倍までズームできます。
- ズームレバーを動かす幅によって、ズーム速度が変わります。
- ワイヤレスリモコンでは、ズーム速度は変わりません。

■ 逆光で撮る(逆光補正)(P35)

- 電源を切ると、逆光補正は解除されます。
- 暗い場面では補正できない場合があります。

■ 自然な色合いで撮る（白バランス設定）（P35）

●レンズキャップを付けたまま電源を入れると、オートホワイトバランスが正しく合わないことがあります。必ず外してから電源を入れてください。
●暗いところでは設定できない場合があります。
●以下のようなシーンで白バランス設定を行うと効果的です。
　・ 赤っぽい光源（ハロゲンランプ・ナトリウムランプなど）での撮影
　・ 複数の光源での撮影
　・ 単調な色彩のシーンの撮影

■ 明るさを調整して撮る（露出設定）（P37）

●液晶モニターの明るさと実際に撮影された映像の明るさは異なる場合があります。

■ 手動でピントを合わせて撮る（マニュアルフォーカス設定）（P37）

●広角でピントを合わせると、拡大したときにピントが合っていないことがあります。被写体に合わせて拡大してからピントを合わせると、広角にしてもピントが合います。
●下記のような撮影条件のとき、自動でピントが合わないことがあります。
手動でピントを合わせてください。
　・ 遠くと近くのものを撮る
　・ 汚れたガラス越しのものを撮る
　・ キラキラと光るものが周りにある
　・ 暗い場所を撮る
　・ 動きの速いものを撮る
　・ コントラストの少ないものを撮る

■ テレビなどの外部機器で映像を見る（P40）

●テレビなどお使いになる外部機器の説明書もお読みください。
●テレビなどの種類によっては、画面表示の文字が一部表示されない場合があります。
●映像 / 音声コードの端子部が汚れていると、画面にノイズが入ることがあります。柔らかい布で汚れをふき取ってから、映像 / 音声入出力端子に接続してください。

■ 外部機器から映像を記録する（P41）

●記録中にスピーカーから出る音量は変えることができますが、記録される音量は一定です。
●ワイド画像（16:9）は正しく記録できません。
●MPEG2 記録では、音声がステレオで記録されますが、MPEG4 記録では音声はステレオのL（左）・R（右）がミックスされ、モノラルで記録されます。
●記録中に映像 / 音声コードを抜き差ししないでください。正常に記録できないことがあります。
●MPEG4 記録では、主音声と副音声が入った映像（２カ国語の映像など）は、記録前にテレビなどの機器側で音声を選択してください。記録後に主音声と副音声のどちらかを再生することはできません。（ミックスして記録されます）
●テレビ放送の電波が弱い場合や、画面にノイズが入っている場合に、その映像を記録すると、映像が乱れたり再生できないことがあります。

■ DVD ビデオレコーダーのハードディスクに記録する（P43）

●映像 / 音声コード（付属）で接続し、ハードディスクに記録することもできますが、画質は多少劣化します。

より詳しく（つづき）

シーン

■ 削除（P44）

- ファイルの削除中は、電源を切ったりカードを抜いたりしないでください。カードが破壊される恐れがあります。
- 本機でファイルを削除すると、他機で設定した DPOF 情報が消去される場合があります。
- 本機で再生できない静止画ファイル（JPEG 以外）でも、削除される場合があります。

■ DPOF 設定（P46）

- DPOF とは、Digital Print Order Format（デジタル プリント オーダー フォーマット）の略です。カードの画像にプリント情報などを付加します。DPOF 情報は、DPOF 対応機器で使用できます。
- 他機で DPOF 設定すると、本機では認識しないことがあります。DPOF 設定は本機で行ってください。

プレイリスト

■ 新規作成（P48）

- カードの残量がなくなると、プレイリストを作成できなくなります。不要なファイルを削除してください。

カード

■ フォーマット（P59）

- フォーマット中は電源を切ったりカードを抜いたりしないでください。カードが破壊される恐れがあります。
- フォーマットは本機で行ってください。パソコン（のエクスプローラ）でフォーマットすると、本機で認識しなくなる場合があります。
- 本機以外でフォーマットされたカードは使えない場合があります。また、本機でフォーマットしたカードは、他の機器で使えない場合があります。使用する機器側でフォーマットしてください。

■ MediaStage for AV100 を起動する（P65）

- PDF説明書を読むためには、Adobe Acrobat Readerが必要です。（CD-ROMに付属されています）ご使用のパソコンにインストールされていない場合は、CD-ROM 内の[Acrobat Reader のインストール]をクリックし、メッセージに従って Adobe Acrobat Reader をインストールしてください。
- カード内のフォルダをパソコン上で消去しないでください。本機でカードが読み込めなくなる場合があります。
- NTFS 形式でフォーマットしたカードを本機に入れて、パソコンと USB 接続すると、カード動作中ランプが点灯したままになります。この場合、[Administrator（コンピュータの管理者）]（もしくはこれと同等の権限を持つユーザー名）にしてログオンし、マイコンピュータからリムーバブルディスクアイコンを右クリックして、[取り出し]を選び、カード動作中ランプが消灯したのを確認してから、カードを取り出してください。

●MediaStage for AV100を使って、SDメモリーカードから直接 MPEG2 動画を再生すると、お使いのパソコン環境や USB の転送速度、動画記録時の[記録画質]の種類などにより、再生画面がコマ落ちしたり、音途切れが発生する場合があります。このときは、MediaStage for AV100 を使って、SD メモリーカード内の MPEG2 動画ファイル表示し、お好みのファイルを[InnerHDD]にドラッグ & ドロップしてコピーしてください。[InnerHDD]内で再生すると、コマ落ちや音途切れが起こりにくくなります。

● InnerHDD にコピーする

●InnerHDD内のファイルを再生する

■ パソコンと接続する(P68)

●付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。

●パソコンとの接続中に AC アダプターを抜かないでください。

●パソコンの電源を切っても、本機のパソコン専用モード(「PC 接続モード」と表示されます)が解除されない場合は、USB 接続ケーブルを外してください。

●本機とパソコンを接続中に、パソコンがサスペンド状態になると、サスペンドから復帰したときに、パソコン側で本機を認識しなくなることがあります。このときはパソコンを再起動してください。

■ カード内のデータについて(P70)

●パソコン上で動画を再生すると、上下に黒い帯が出ることがありますが、異常ではありません。

●MPEG4動画のファイル名は16進数の連番で付けられます。(例 00A=10 です)

●パソコンで本機が未対応のデータを記録した場合は、認識することができません。

●[DCIM]、[MISC]、[SD_VIDEO]など は フォルダの構成上必要ですので消去しないでください。

●MPEG4 動画(ASF 形式)ファイルは、Windows Media™ Player(Ver.6.4以降)で再生できますが、音声が出ない場合は専用のソフトウェア(G.726)をダウンロードする必要があります。(CD-ROM(付属)内の MediaStage for AV100 をインストールすると、同時にインストールされます)

●MPEG4 動画ファイルを電子メールなどで送付した場合、再生するには受信側で Windows Media™ Player(Ver.6.4以降)が必要です。

故障と思ったら(Q&A)

1:　電源が入らない。

1-1: バッテリーや AC アダプターは正しく接続されていますか。接続を確認してみてください。

1-2: バッテリーは十分に充電されていますか。十分に充電されたバッテリーをお使いください。

2:　電源が入っていてもすぐに切れる。

2:　バッテリーが消耗していませんか。バッテリーを充電するか、十分に充電されたバッテリーを付けてください。

3:　記録できない。

3-1: カードが入っていますか。

3-2: SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが［LOCK］側になっていると記録できません。

3-3: カードの容量は十分ですか。残量を確認してください。(P57)
十分でない場合は、新しいカードを使うか、不要なファイルを削除してください。

4:　MPEG2 動画が記録できない。

4:　カードによっては、MPEG2 動画記録はできません。(P25)

5:　MPEG4 動画がきれいに撮れない。

5:　［記録画質］を［ノーマル］や［エコノミー］にして細かいものを記録すると、画像がモザイク状になることがあります。［ファイン］や［スーパーファイン］にして記録してください。

6:　映像や音声がおかしい。

6:　データが壊れている可能性があります。データは静電気や電磁波で壊れることがあります。大切なデータはパソコンなどにも保存してください。

7:　動画や静止画の記録時間・枚数が本書の記載と大幅に異なる。

7-1: 記録される画像によって、記録時間・枚数は変動します。

7-2: MPEG2/MPEG4 動画、静止画を 1 枚のカードに混在して記録すると、所定の記録時間・枚数よりも少なくなります。

8:　全プログラムまたは全シーン画面で、画像が青色に表示される。

8:　形式の異なるデータや壊れたデータです。このようなデータは再生できないため、スキップされます。

9:　カードをフォーマットしても使えない。

9:　本機、またはカードの故障と思われます。お買い上げの販売店にご相談ください。

10:　テレビと接続しても、再生映像・音声が出ない。

10:　正しく接続してください。
また、映像 / 音声コードは付属のものをお使いください。

11:　再生・記録ができず、画面が動かなくなった。

11:　電源を［OFF］にしてください。
それでも電源が切れないときは、［RESET］ボタンを押してください。
それでも正常に動作しない場合は、接続している電源を外し、お買い上げの販売店、またはお近くの「修理ご相談窓口」(P113 ～ 115)にお問い合わせください。

12:　記録したMPEG4動画映像を電子メールで送りたい。

12:　本機で記録した映像をパソコンなどに取り込んで、電子メールに添付すると送ることができます。(CD-ROM（付属）内のソフト「MediaStage for AV100」を使うと便利です)
この場合、ファイルサイズの容量を1 MB程度にすることをおすすめします。1 MBのMPEG4動画ファイルの記録時間は、スーパーファイン：約8秒、ファイン：約15秒、ノーマル：約20秒、エコノミー：約60秒です。
(電子メールで送れるファイル容量の上限は、お使いの環境によって異なります)
MPEG4 動画ファイルを電子メールなどで送付した場合、再生するには受信側でWindows Media Player（Ver. 6.4 以降）が必要です。音声が出ない場合は専用のソフトウェア(G.726)をダウンロードする必要があります。Windows Media Player にはこのソフトの自動ダウンロード機能があります。インターネットに接続し、MPEG4 動画ファイルをダブルクリックすると、ソフトウェアが自動的にダウンロードされます。
(Mac OSで再生する場合は、Windows Media Player for Macintoshが必要です)

13:　USB接続ケーブルを接続すると、Windowsの[デバイスマネージャ]の［USB大容量記憶装置デバイス］に緑色の［?］マークが表示される。

13:　CD-ROM（付属）内のUSBドライバーをインストールせずに接続すると、お使いのパソコンの OSによっては［？］が表示されます。USB接続ケーブルを本機から抜いて、P66の手順でUSBドライバーをインストールすると表示されなくなります。

14:　Windows Me使用時に、USB接続ケーブルを抜くと、[デバイスの取り外しの警告］が表示された。

14:　Windows Me を使用している場合、CD-ROM（付属）内の USBドライバーをインストールせずに接続していると、USB接続ケーブルをそのまま抜いたときに警告メッセージが表示されます。USBドライバーをインストールすると表示されなくなります。
(Windows 2000、Windows XPをお使いの場合は、P69の手順に従って、USB接続ケーブルを外してください)

15:　画面に赤や青、緑の点が現れた。

15:　液晶モニターの画面上には0.01%以下の割合で、画素欠けや常時点灯するものがありますが、故障ではありません。(P99)

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

バッテリーパックを炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない

液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

⚠危険

バッテリーパックを分解、加工(はんだ付けなど)、加圧、加熱、火中投入などをしない

液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

●不要(寿命)になったバッテリーパックについては、97ページをご参照ください。

バッテリーパックの端子部(⊕と⊖)に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない

液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

●ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

⚠警告

電源プラグのほこりなどは取る

湿気などでショートや絶縁不良となり、火災・感電につながります。

●プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
●プラグは時々点検してください。

電源プラグは、根元までしっかりと差し込む

接触不良で火災・感電につながります。

●いたんだプラグやゆるんだコンセントは、使わないでください。
●プラグは時々点検してください。

⚠警告

煙が出ている、異常に熱い・におい・音がするときなどは、使うのをやめ、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

火災・感電につながります。

●バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
●販売店にご相談ください。

内部に水や異物などが入ったときや外装ケースが破損したときは、使うのをやめ、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

火災・感電につながります。

●バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
●販売店にご相談ください。

自動車など、乗り物を運転しながら使わない

禁　止

事故の誘発につながります。

●歩きながら使うときも、周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプターなどの電源プラグに触れない

接触禁止

落雷すると、感電につながります。

⚠警告

内部に金属物や燃えやすいものなどを入れない

火災・感電・故障につながります。

●乳幼児にご注意ください。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かない

落下すると、けがや製品の故障につながります。

不安定な状態で使わない

転落すると、死亡や大けがにつながります。

●安定した足場、安定した体勢を確保してください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電につながります。

●必ず、乾いた手で持ってください。

コイン電池や SD メモリーカード、レンズキャップは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響をおよぼします。

●万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠警告

水をかけたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

内部に水が入ると、火災・感電・故障につながります。

●水が入ったときは、販売店にご相談ください。
●雨天、降雪中、海岸、水辺など、水がかかりやすいところで使うときは、ぬらさないようにご注意ください。

電源コードや電源プラグを破損させない

禁　止

無理なねじり、引っ張り、加工、重いものの下敷きなどは、コード破損の原因となり、火災・感電につながります。

●破損したときは、使うのをやめ、販売店にご相談ください。

分解や改造をしない

分解禁止

火災・感電・故障につながります。

●修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。
●お手入れ時で、部品の取り外しや取り付けなどが必要な場合は、説明書の指示に従ってください。

交流100ボルト～240ボルト以外では使わない また、配線器具の仕様をこえる使いかたをしない

禁　止

たこ足配線などの場合も、過電流で発熱し、火災・故障につながります。

⚠注意

コードを持って抜かない コードを無理に曲げたり、引っ張ったりしない

コードや機器の破損の原因となります。

●必ず、プラグ部分を持って、まっすぐ抜いてください。

ACアダプターのコードを持って抜かない

コード破損の原因となり、火災・感電の恐れがあります。

コードが張った状態で使わない

コードにつまずいて転倒したり、機器が破損する恐れがあります。

付属のUSB接続ケーブルをUSB指定の端子以外には装着しない

ケーブルや機器の破損の原因となります。

●必ず、USB 接続ケーブルを接続する前に、使用機器の端子がUSB用であることを確認してください。

⚠注意

高温になるところに放置しない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60 ℃以上）になります。SD マルチカメラ、バッテリーなどを絶対に放置しないでください。熱で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると火災・感電の恐れがあります。

お手入れの際や長期間使わないときは、安全のため、電源プラグを抜く

誤って内部に触れると、感電する恐れがあります。また、通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災につながる恐れがあります。（カード保護のため、カードも取り出しておいてください）

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響をおよぼす恐れがあります。

●病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障の恐れがあります。

⚠注意

指定以外のバッテリーを使わない

指定以外のバッテリーを使うと、液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする恐れがあります。

充電中や使用中は、機器の上に布などをかぶせない

熱で外装ケースが変形し、内部が発熱すると、火災・感電・故障の恐れがあります。

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の恐れがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところでは使わない

水やほこりが入ったり、振動などで内部部品が破損すると、火災・感電の恐れがあります。

- ３年に一度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください。(特に湿度が高くなる梅雨期の前に点検をすると、効果的です)
- 費用についても、そのときお確かめください。

⚠注意

コイン電池の ⊕・⊖ 部に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする恐れがあります。

●ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

コイン電池を分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない

液漏れ・発熱・発火・破裂の恐れがあります。

コイン電池は、⊕・⊖ を確かめ、正しく入れる

間違えると、液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする恐れがあります。

電池が液漏れしたときは：

- 万一、液漏れが発生し、液が手や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

使用上のお願い

■ SD マルチカメラについて

磁気や電磁波が発生するところ(携帯電話、電子レンジ、テレビやゲーム機など)からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で映像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、画像がゆがんだりします。また、テレビやゲーム機などから出る電磁波により、お互いに影響をおよぼし、テレビや本機の映像が乱れる場合があります。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響をおよぼし、映像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーや AC アダプターを一度外し、改めて接続してから電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で記録映像や音声が悪くなることがあります。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにする
また海水などでぬらさないようにする

- 砂やほこりが入ると、本機の故障につながります。
- 万一海水がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない

- 強い衝撃が加わると、外装ケースがこわれ、故障します。

監視用など、業務用として使わない

- 長時間使うと、内部に熱がこもり故障する恐れがあります。
- 本機は業務用ではありません。

■ バッテリーについて

リチウムイオンバッテリーは小型で高容量のバッテリーです。しかし、冬場の屋外などの低温(10 ℃以下)で、バッテリーが冷えている場合、バッテリーの使用時間は短くなる特性があり、動作しないことがあります。このようなときは、バッテリーをポケットに入れるなどして温かくしておき、撮影直前に本機に入れてください。(カイロなどをご使用になっている場合は、直接カイロがバッテリーに触れないようにお気を付けください)

長時間使用しないときは、必ずバッテリーを外す

- バッテリーを付けたままにしておくと、電源を切っていても、絶えず微少電流が流れています。そのままにしておくと、過放電になり、充電しても使用できなくなる恐れがあります。
- 長期間放置すると、自己放電していることがありますので、お使いになる前に充電してください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では、撮影できる時間がより短くなります。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるように AC アダプターも忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。(P100)

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本体に付けると、本体をいためます。

保存時のお願い

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。(推奨温度:15℃～25℃、推奨湿度:40% ～ 60% です)
- 極端に低温、高温になるところで保管すると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。
- 高温・多湿、油煙の多いところでは、端子がさびたりして故障の原因となります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、充電容量を使い切ってから再保管することをおすすめします。

- 長期間ご使用にならなかったバッテリーは、十分に充電されないことがあります。また、使用時間が短くなることがあります。
- バッテリーの端子部に付いたほこりなどは取ってください。

不要(寿命になったなど)バッテリーは火中などに投入しない

- 加熱や火中などに投入すると、破裂する恐れがあります。
- バッテリーには寿命があります。
充電直後でも、バッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い求めください。

不要になった電池(バッテリー)は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

リチウムイオン
電池使用

使用済み充電式電池(バッテリー)の届け先

- 下記の充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。
- お買い上げの販売店または最寄りの松下電器の販売店・サービスセンター・販売会社へ。もしくは(社)電池工業会にご確認ください。(ホームページ:http://www.baj.or.jp)

使用済み充電式電池(バッテリー)の取り扱い

- 端子部をセロハンテープなどでおおい、リサイクル箱へ
- 分解しないでリサイクル箱へ

■ 本機の取り扱いについて

- **長時間使用すると、本機の温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。**
- 使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。(電源スイッチを[OFF]にした状態でも、わずかに電力を消費しています)
- 半年に一度程度は本機の電源を入れ、動作させてください。

■ お手入れについて

- ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わないでください。外装ケースが変質したり、塗料がはげることがあります。お手入れ時は、柔らかい、乾いた布でほこりをふいてください。汚れがひどいときは、台所用洗剤を水でうすめ布をひたし、よく絞ってから汚れをふき取ってください。そのあと乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ カードについて

- カード動作中ランプが点灯中(カードにアクセス中)は、カードを抜いたり、電源を切らないでください。また、振動や衝撃を与えないでください。カードやカードの内容が破壊されることがあります。
- SDメモリーカードには書き込み禁止スイッチが付いています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みやデータの削除、フォーマットができなくなります。戻すと、可能になります。

- カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しないでください。カードやカードの内容が破壊されることがあります。
- 使用後や保管、持ち運び時は、カードを取り出し、カードケースに入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。
- 不適切な取り扱いにより、カードのデータが破壊されたり消失しても、弊社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご容赦ください。

■ つゆ付きについて

夏に冷蔵庫から出したビンなどに、しばらくすると水滴が付きます。この現象が本機に起こった場合が「つゆ付き」です。
つゆ付きが起こると、レンズがくもったり、正常に動作しない場合があります。つゆ付きを起こさない心がけと、起こったときの処置を正しく守ってください。

つゆ付きが起こる原因は

下記のように温度差、湿度差があると起こります。

- 寒い屋外から暖かい屋内に持ち込んだとき
- 車外から冷房の効いた車などに持ち込んだとき
- 寒い部屋を急に暖房したとき
- エアコンなどの冷風が本機に直接当たっていたとき
- 湿気がたち込めるなど湿度の高いところ

つゆ付きが起こった場合の処置

- 電源スイッチを[OFF]にし、1 時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。
- 本機を寒い場所から暑い場所に移すときは、つゆ付きの発生を防ぐために、本機をビニール袋に入れ、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。

■ 液晶モニターについて

- 液晶面が汚れたときは、柔らかい、乾いた布でふいてください。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターにつゆが付くことがあります。このときは、柔らかい乾いた布でふいてください。
- 寒冷地などで本体が冷えきっている状態で電源を入れた場合、液晶モニターが通常より少し暗くなります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が表れたり、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99% 以上の高精度管理をしておりますが、0.01% 以下で画素欠けや常時点灯するものがあります。
これらはカードには記録されませんので、ご安心ください。

■ レンズについて

- レンズを触らないでください。レンズが汚れたときは、乾いた柔らかい布でふいてください。
- レンズがくもったときは、電源スイッチを切り、1 時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。

■ 充電中の電源ランプについて

充電中は電源ランプが点滅します。**(正常充電時は約 2 秒間隔の点滅)**
電源ランプの点滅速度が速いときや、逆に遅いとき(もしくは消灯時)は、異常が起こっていると考えられます。
点滅速度によって、以下の状態が考えられます。

約 0.5 秒間隔で点滅:

- 本体やバッテリー、AC アダプターなどの故障と思われます。お買い上げの販売店、またはお近くの「修理ご相談窓口」(P113 ～ 115)にお問い合わせください。

約 6 秒間隔で点滅:

- バッテリーや周囲の温度が高いときや低いとき、またはバッテリーが過放電されている場合です。充電はできますが、場合によっては正常充電までに数時間かかる場合があります。それでも充電できないときは、バッテリーや周囲の温度が高すぎる、もしくは低すぎる場合です。適温になるまで待ってから、再度充電してください。

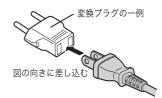
消灯:

充電完了です。

- 電源ランプが消灯しているのに、満充電されていないときは、AC アダプターまたはバッテリーの故障と思われます。お買い上げの販売店、またはお近くの「修理ご相談窓口」(P113 ～ 115)にお問い合わせください。

海外で使う

ACアダプターは、自動で全世界の電源電圧(100 V、120 V、220 V、240 V)、電源周波数 (50 Hz、60 Hz) に切り換わるように設計されています。ただし、国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、下表を参考に電源コンセントの形状を確かめ、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。

変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。充電のしかたは、国内と同じです。

ご使用にならないときは変換プラグをACコンセントから外してください。

> ACアダプターは、全世界の電源電圧(100 V、120 V、220 V、240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)でご使用いただけるように設計しております。
> 市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

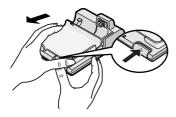
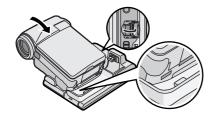
主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米							
カナダ	A	アメリカ合衆国	A				
ヨーロッパ・旧ソ連地域							
アイスランド	C	ノルウェー	C	アイルランド	C	ハンガリー	C
イギリス	B.BF	フィンランド	C	イタリア	C	フランス	C
オーストリア	C	ベルギー	C	ギリシャ	C	ポーランド	B.C
オランダ	C	ポルトガル	B.C	スイス	B.C	ルーマニア	C
スウェーデン	C	ロシア	C	スペイン	A.C	ウクライナ	C
デンマーク	C	ベラルーシ	C	ドイツ	C	カザフスタン	C
アジア							
インド	B.C	モルジブ	B	インドネシア	B.C	バングラデシュ	C
シンガポール	B.BF	フィリピン	A.C.S	タイ	A.BF.C	ベトナム	A.C
大韓民国	A.B.C	中華人民共和国	A.B.BF.C.S	スリランカ	B	マカオ特別行政区	B.C
香港特別行政区	B.BF	マレーシア	B.BF.C	ネパール	C	モンゴル	C
パキスタン	B.C	台湾	A				
オセアニア							
オーストラリア	S	トンガ	S	グァム島	A	ニュージーランド	S
タヒチ	C	フィジー	S				
中南米							
アルゼンチン	BF.C.S	バハマ	A	コロンビア	A	プエルトリコ	A
ジャマイカ	A	ブラジル	A.C	チリ	B.C	ベネズエラ	A
ハイチ	A	ペルー	A.C	パナマ	A	メキシコ	A
中東							
イスラエル	C	クウェート	B.C	イラン	C	ヨルダン	B.BF
アフリカ							
アルジェリア	A.B.BF	ザンビア	B.BF	エジプト	B.BF.C	タンザニア	B.BF
カナリア諸島	C	南アフリカ共和国	B.C	ギニア	C	モザンビーク	C
ケニア	B.C	モロッコ	C				

タイプ	A	B	BF	C	S
形状					
変換プラグ	不要です				

Operating Instructions

■Fitting on the AV Cradle

1 While pressing the Release Button, pull out the tray.

2 Place the SD Multi Camera on the AV Cradle.

3 Push the tray until you hear it clicks.

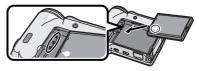
4 Connect the DC Input Lead to the [DC IN 4.9V] socket on the AV Cradle.

5 Connect the AC Power Cord to the AC Adaptor and the AC Main socket.

- The SD Multi Camera is ready for use.

■Using the Battery

1 While pressing the Ⓐ part, slide it to remove the Battery Compartment Cover.

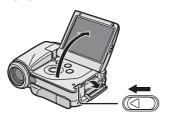
2 Press the terminals of the battery onto the terminals of the Battery Compartment and set the battery.

- Fit the battery with its label facing upward.
- After the battery is set, close the cover.

3 Connect the AC Adaptor to AC Main socket and connect the DC Input Lead to the [DC IN 4.9V] socket on the SD Multi Camera.

- Charging starts.
- Note that the power of the SD Multi Camera is turned [OFF].

Operating Instructions (Cont.)

■Insert a SD Memory Card

1 Open the LCD monitor and slide the Card Slot Cover Open Lever to open the Card Slot Cover.

2 Hold the Memory Card placing the cut off corner ❶ at the front with the label ❷ facing up, and then insert it fully into the Memory Card Slot horizontally.

- Turn off the SD Multi Camera before inserting a Card.

- If you remove the Card, open the Card Slot Cover and press the center of the Card and then pull it straight out.

■Recording the Moving Picture/Still Image

1 Press the [REC/PLAY] Button to select Recording Mode.

2 Press the [MODE] Button until the desired mode is selected.

- Pressing the [MODE] Button switches the modes consecutively.

3 Press the Recording Start/Stop Button.

- Press the Recording Start/Stop Button again to stop recording.

■Playing the Moving Picture/Still Image

❶ **Press the [REC/PLAY] Button to select Playback Mode.**

❷ **Press the [MODE] Button until the desired mode is selected.**

●Pressing the [MODE] Button switches the modes consecutively.

❸ **Press the ❚❚/■/◀◀/▶▶ side of the Multi-function Button to select a desired file.**

❹ **Press the [▶ SET] Button.**

●Pressing the ■ side of the Multi-function Button stops playing and the index picture screen reverts.

■Using the Menu Screen

❶ **Select a desired mode.**

❷ **Press the [MENU] Button.**

●The Menu screen is displayed.

❸ **Press the ❚❚/■ side of the Multi-function Button to select a desired Main Menu and press the [▶ SET] Button.**

❹ **Press the ❚❚/■ side of the Multi-function Button to select a desired Sub-Menu and then press the [▶ SET] Button.**

❺ **Press the ❚❚/■ side of the Multi-function Button to select a desired item and then press the [▶ SET] Button.**

❻ **Press the [MENU] Button.**

●The Menu screen goes off.

●Changing the Language of Indicatons displayed on LCD Monitor to English

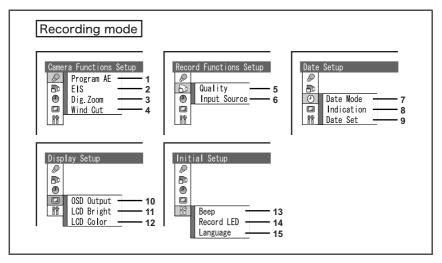
1 Press the [MENU] Button and select [言語切換] on [初期設定] to set [English].

●The Indications and Menu screen are displayed on English.

その他

Operating Instructions (Cont.)

■Menu List

The following is a list of menus available on the SD Multi Camera.

Recording mode

[Camera Functions Setup]

1 Auto Exposure Mode [Program AE]

2 Image Stabilizer [EIS]

3 Digital Zoom [Dig.Zoom]

4 Wind Noise Reduction [Wind Cut]

- ●This function appears [MPEG2] mode and [MPEG4] mode.

[Record Functions Setup]

5 Picture Quality [Quality]

6 Input Source [Input Source]

[Date Setup]

7 Date and Time Indiation Mode [Date Mode]

8 Date and Time Indication [Indication]

9 Date and Time Setting [Date Set]

[Display Setup]

10 OSD Indication [OSD Output]

11 LCD Brightness Adjustment [LCD Bright]

12 LCD Color Adjustment [LCD Color]

[Initial Setup]

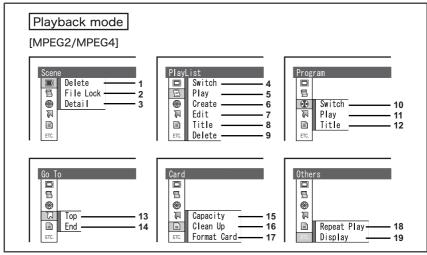
13 Beep Sound [Beep]

- This SD Multi Camera will emit sound when the power switch is changed over, the REC Button is pressed, or other operations are engaged. If you do not need operating sound, you can switch it off.

14 Recording LED [Record LED]

- The Recording Lamp which is on the front of the SD Multi Camera lights while recording, in addition flashes during remote control receiving. When [Record LED] set to [Off], the Recording Lamp will not light.

15 Language Select [Language]

- The Language which is displayed on the LCD Monitor can be chosen from [日本語 (Japanese)] and [English].

Playback mode [MPEG2/MPEG4]

[Scene]

1 Deleting a Scene [Delete]
2 Setting the Lock [File Lock]
3 Scene Detail [Detail]

[PlayList]*

4 Selecting and switching a Play List [Switch]
5 Playing back the Play List [Play]
6 Creating the Play List [Create]
7 Editing the Play List [Edit]
8 Edit a title of the Play List [Title]
9 Deleting a Play List [Delete]

[Program]*

10 Switching a Program [Switch]
11 Playing back the Program [Play]
12 Edit a title of the Program [Title]

[Go To]

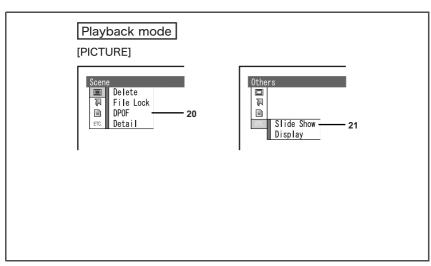
13 Go to Top of List [Top]
14 Go to End of List [End]

[Card]

15 Capacity of a Card [Capacity]
16 Recover writing speed of the data to a Card [Clean Up]
17 Formatting a Card [Format Card]

[Others]

18 Setting a Repeat Playback [Repeat Play]
19 Display Mode [Display]

*[MPEG2] mode only.

Playback mode [PICTURE]

[Scene]

20 Setting DPOF [DPOF]

[Others]

21 Setting a Slide Show [Slide Show]

● The other functions of [PICTURE] mode are the same as [MPEG4] mode.

さくいん(アイウエオ順)

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

英・数字順

仕様

SD マルチカメラ

電源	AC アダプター使用時　:DC 4.9 V バッテリー使用時　:DC 3.7 V
消費電力	AC アダプター使用時　:3.7 W （MPEG2/MPEG4 動画記録時） バッテリー使用時　:3.5 W （MPEG2/MPEG4 動画記録時）

撮像素子	1/6 型 CCD 固体撮像素子　補色フィルター内蔵
画素数	総画素数：約 68 万画素（動画記録時：約 34 万画素）
走査方式	2：1 インターレース　525 本　60 フィールド
標準被写体照度	1400 ルクス
最低照度	12 ルクス
焦点距離	2.30 mm ～ 23.0 mm
ズーム比	光学 10 倍　デジタルズーム 25 倍 /100 倍
F 値	1.8 ～ 2.3
最短撮像距離	レンズ全面より約120 cm（全域）、35 mm（WIDE近接）
モニター	2.5 インチ液晶モニター（約 12.3 万画素）
記録メディア	SD メモリーカード
動画録再	
MPEG2	ファイン：　704 × 480 ドット （約 6 Mbps、30 fps） ノーマル：　352 × 480 ドット （約 3 Mbps、30 fps）
MPEG4	スーパーファイン：　320 × 240 ドット（QVGA） （約 1 Mbps、15 fps） ファイン：　320 × 240 ドット（QVGA） （約 420 kbps、12 fps） ノーマル：　176 × 144 ドット（QCIF） （約 300 kbps、12 fps） エコノミー：　176 × 144 ドット（QCIF） （約 100 kbps、6 fps）
動画圧縮形式	MPEG2/MPEG4：SD-Video 規格準拠
静止画圧縮形式	JPEG（Exif2.2/DCF）準拠
音声圧縮方式	MPEG2：MPEG1-Layer2 準拠（ステレオ） MPEG4：G.726 準拠（モノラル）
映像入出力	NTSC 方式　525 本　60 フィールド 1.0 Vp-p　75 Ω　AV ミニジャック

音声入力	マイク： 内蔵マイク専用 ライン： 316 mV　入力インピーダンス 10 kΩ 以上 AV ミニジャック
音声出力	ライン： 316 mV　負荷インピーダンス 10 kΩ 以上 AV ミニジャック ヘッドホン出力：77 mV　負荷インピーダンス 32 Ω AV ミニジャック兼用
USB	USB2.0 準拠（最大 12 Mbps）、USB 端子 TYPEminiB カードリーダーライター機能（著作権保護対応無し）
外形寸法	約 幅 33.2 ×高さ 89.8 ×奥行 64.9 mm
本体質量	約 156 g（バッテリーパック、SD メモリーカード、 レンズキャップ、ハンドストラップ含まず）
使用時質量	約 190 g
推奨使用温度	0 ～ 40 ℃
許容相対湿度	10 ～ 80%
バッテリー持続時間	連続使用：約 1 時間（MPEG2/MPEG4 動画記録時） （付属のバッテリーパック使用時）

AC アダプター

電源	AC 100 − 240 V　50/60 Hz
入力容量	18 VA（100 V 時）/24 VA（240 V 時）
出力	DC 4.9 V　1.4 A

質量	約 130 g
外形寸法	約 幅 59 ×高さ 31 ×奥行 96 mm

バッテリーパック

最大電圧	DC 4.2 V
公称電圧	DC 3.7 V
定格容量	1050 mAh

質量	約 28 g
外形寸法	約 幅 36 ×高さ 7 ×奥行 53 mm

保証とアフターサービス(よくお読みください)

**修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください**

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

● 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!

● 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■ 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

**保証期間:お買い上げ日から
本体1年間**

「本体」にはCD-ROMは含みません

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このSDマルチカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	SD マルチカメラ
品　番	SV-AV100
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

● 保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お買い上げの販売店が修理させていただきます。なお、修理料金については販売店にご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187

FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays /Sundays / national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

北海道地区		
札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251 **旭川** 旭川市2条通21丁目左1号 ☎(0166)31-6151	**帯広** 帯広市西19条南1丁目7-11 ☎(0155)33-8477	**函館** 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎(0138)48-6631

その他

保証とアフターサービス（よくお読みください）（つづき）

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

東北地区

地域	住所	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	住所	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6011
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	住所	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	住所	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

中国地区		
鳥取 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695	**出雲** 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133	**広島** 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129	**浜田** 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629	**山口** 山口市鋳銭司 字鋳銭司団地北447-23 ☎(083)986-4050
松江 松江市平成町182番地14 ☎(0852)23-1128	**岡山** 岡山県都窪郡早島町矢尾807 ☎(086)292-1162	

四国地区		
香川 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-9477	**高知** 南国市岡豊町中島331-1 ☎(088)866-3142	**愛媛** 松山市土居田町750-2 ☎(089)971-2144
徳島 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 ☎(088)698-1125		

九州地区		
福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036	**大分** 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815	**天草** 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
佐賀 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151	**宮崎** 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎(0985)63-1213	**鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
長崎 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658	**熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067	**大島** 名瀬市長浜町10-1 ☎(0997)53-5101

沖縄地区	
沖縄 浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0503

この取扱説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

愛情点検	長年ご使用のSDマルチカメラの点検を！
	こんな症状はありませんか：・電源コードやプラグが異常に熱い・煙が出たり、異常なにおいや音がする・水や異物が入った・映像が乱れたり、きれいに映らない・その他の異常や故障がある
	このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品番	SV-AV100
販売店名	☎（　）		
お客様ご相談窓口	☎（　）		

松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ
〒571−8505　大阪府門真市松生町1番4号
システム事業グループ
〒571−8503　大阪府門真市松葉町2番15号

F0703Kz3093（　3000 Ⓓ）

Panasonic　SDマルチカメラ　SV-AV100　取扱説明書